

第6期総合計画

市民意識調査

結果報告書

平成21年8月

北海道砂川市

目次

1 調査の概要

1)	調査の目的	2
2)	調査の方法	2
3)	調査内容	2
4)	回収状況	3
5)	集計・表記方法	3

2 設問別調査結果

問1	回答者の属性	5
問2	まちづくりの満足度・重要度	9
問3	砂川市のイメージ	12
問4	砂川市の住み心地	14
問5	定住意向	15
問5-2	定住阻害要因	16
問6	土地利用について	19
問7	砂川市の将来像	20
問7-2	砂川市がめざす まちの姿	22
問8	高齢者福祉について	23
問9	産業の振興について	24
問10	中心市街地活性化について	25
問11	道路・交通について	27
問12	まちの景観の満足度	29
問12-2	まちの緑について	31
問12-3	公園利用について	33
問12-4	公園利用の仕方について	34
問12-5	公園を利用しない理由	34
問13	市民参加の考え方	35
問13-2	市民参加の現状	36
問14	まちづくりへの意見、提案	37

1. 調査の概要

1) 調査の目的

この調査は「砂川市第6期総合計画」を策定するにあたり、市民が市の現状をどのように認識しているのか、また、将来どのような市になることや、どのような暮らしを望んでいるのかについて、市民の意識や考え方を把握し、新しいまちづくりの計画の基礎資料とするために実施した。

2) 調査の方法

- ①調査対象 砂川市に居住する18歳以上の市民の中から、18歳以上人口（16,623人）の約1割である1,650人を対象とした。
- ②抽出方法 1,650人の抽出にあたっては、平成21年5月1日現在の住民基本台帳登録者から年代別人口構成比に応じた割当数を無作為抽出した。

抽出内訳

年 代	抽出数（比例割当）
20歳代（18～19歳含む）	205
30歳代	210
40歳代	212
50歳代	283
60歳代	305
70歳以上	435
計	1,650

- ③調査方法 郵送による配布・回収
- ④調査期間 平成21年6月12日～7月3日
（最終締め切り7月13日）

3) 調査内容

- ・回答者属性
- ・まちづくりの満足度・重要度
- ・砂川市のイメージ
- ・定住意向
- ・土地利用
- ・砂川市の将来像
- ・砂川市がめざす まちの姿（自由回答）
- ・高齢化社会への対応
- ・産業について
- ・中心市街地について
- ・道路・交通について
- ・景観、公園・緑化
- ・市民参加・地域活動について
- ・今後の砂川市のまちづくりに対する提案や意見（自由回答）

4) 回収状況

- ①配布数 1,650 通
- ②回収数 823 通
- ③回収率 49.9%

※参考（平成11年度調査結果）

- 配布数 1,741 人
- 回収数 881 人
- 回収率 50.6%

5) 集計・表記方法

◎構成比の示し方

複数回答の設問などで、構成比を示す場合は、各設問の無回答者を除いた実回答者数をもとに、それぞれの項目に占める割合を表示している。

◎構成比の合計

各集計値の構成比は小数点第二位を四捨五入しているため、その合計が100%にならない場合がある。また、複数回答における回答率は100%を超える場合がある。

◎年齢及び住所地に関する集計方法

下記については回答数が少ないため、統計上の数値として利用できないことから、合算した。

・年齢

20歳未満(12人)、20歳代(53人)を合算し、「30歳未満」とした。

・住所地

①空知太(39人)、空知太東(54人)、空知太西(32人)を合わせて「空知太地区」とした。

②富平(6人)、豊沼町(6人)、東豊沼(9人)、西豊沼(5人)、日の出(2人)、北光(32人)、一の沢(2人)、焼山(6人)、鶉(1人)、宮城の沢(5人)を合わせて「農村地区」とした。

③東1~4条北10~22丁目(3人)、西1~7条北10~24丁目(40人)を合わせて「東西北10~24丁目地区」とした。

④東1~6条北1~9丁目(18人)、東1~7条南1~11丁目(86人)、三砂町(16人)を合わせて「東中心市街地区」とした。

⑤西1~8条北1~9丁目(66人)、西1~7条南1~11丁目(84人)を合わせて「西中心市街地区」とした。

⑥北吉野町(9人)、南吉野町(10人)、吉野北条丁目(20人)、吉野南条丁目(125人)、晴見(44人)を合わせて「吉野・晴見地区」とした。

⑦東1~6条南12~22丁目(21人)、西1~7条南12~22丁目(65人)を合わせて「東西南12~22丁目地区」とした。

◎平成 11 年に実施したアンケート調査結果との比較について

平成 11 年にも同じ目的で「市民意向調査」を実施しており、必要な部分において今回調査との比較を行った。

◎本文、グラフ及び表の選択肢の文言

実際の調査書の文言を省略している場合がある。

◎問 2 まちづくりの満足度と重要度について

各施策における満足度と重要度は、回答した項目ごとに以下のようなポイントをつけ、回答者数で除した平均値を求めて表すこととした。

項 目	ポイント
満足	5
やや満足	4
どちらとも言えない	3
やや不満	2
不満	1

項 目	ポイント
重要	5
やや重要	4
どちらとも言えない	3
あまり重要ではない	2
重要ではない	1

上記の結果から、縦軸に重要度、横軸に満足度をあらわした座標に 51 項目をポイントごとに配置し、散布図とした。

◎「その他」欄の記載について

各設問において「その他」欄を設けてあり、具体的に記載があるものについては原文を掲載し、質問の趣旨にそぐわないもの等については一部掲載していないものがある。

また、文章をわかりやすくするため、趣意を損なわない程度に補足や誤字訂正などを行っている場合がある。

◎問 7-2 砂川市がめざす まちの姿（自由回答）について

問 7-2 については自由回答のため、別途とりまとめることとし、本報告書には分野別の件数のみ掲載することとした。

◎問 14 今後のまちづくりに対する提案やアイデア、ご意見など（自由回答）について

問 14 については自由回答のため、別途とりまとめることとし、本報告書には分野別の件数のみ掲載することとした。

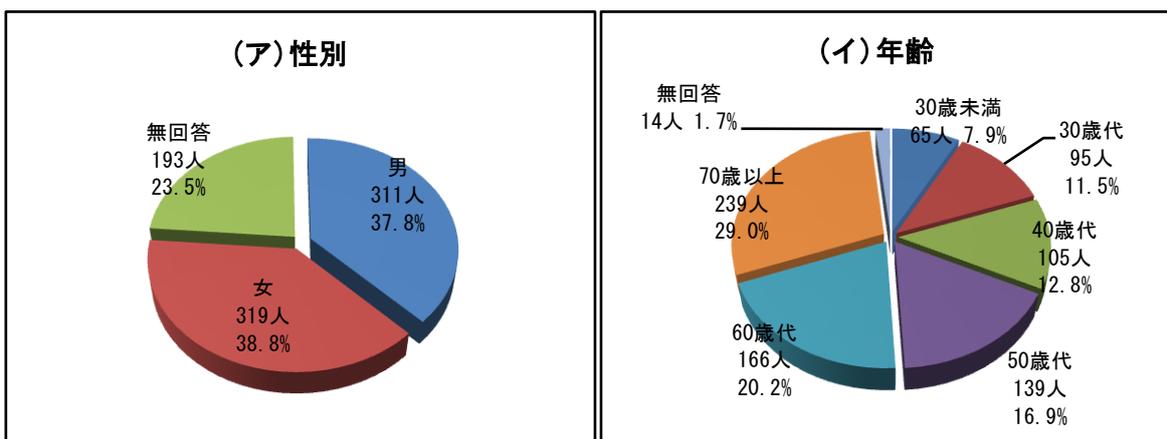
2. 設問別調査結果

【問1】あなたご自身のことについてお答えください。(回答者の属性)

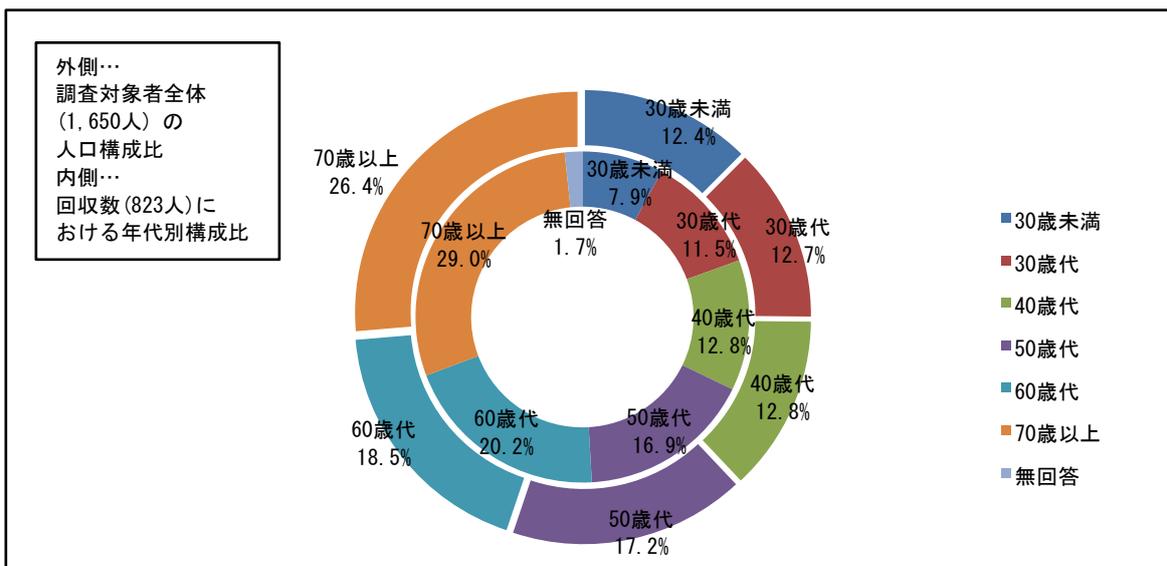
(1つ選択)

性別については、回答者 823 人のうち男性が 311 人 (37.8%)、女性が 319 人 (38.8%) で、わずかに女性が上回りましたが、無回答が 193 人と多く、全体の 2 割を超えています。

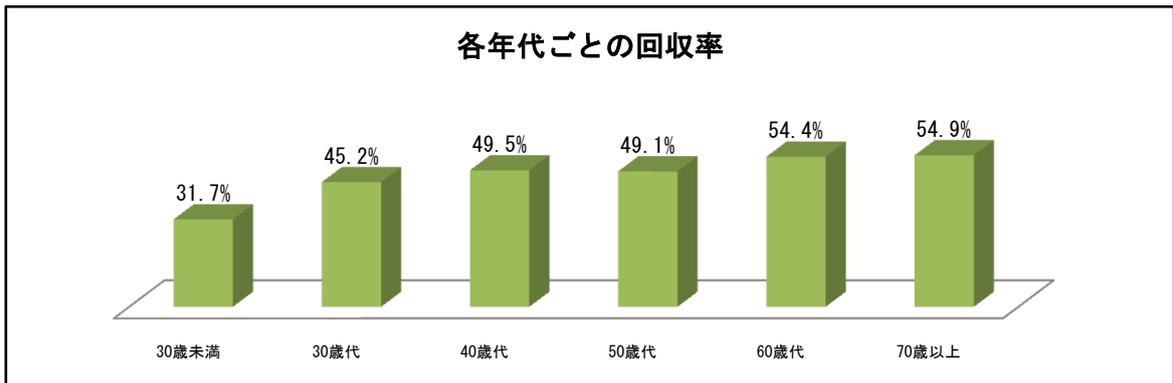
年齢については、年代が高い順に回答数全体に占める割合も高くなっており、70 歳以上が 239 人 (29.0%) で最も高く、60 歳代 166 人 (20.2%)、50 歳代 139 人 (16.9%)、40 歳代 105 人 (12.8%)、30 歳代 95 人 (11.5%) と続き、30 歳未満については 65 人 (7.9%) となっています。



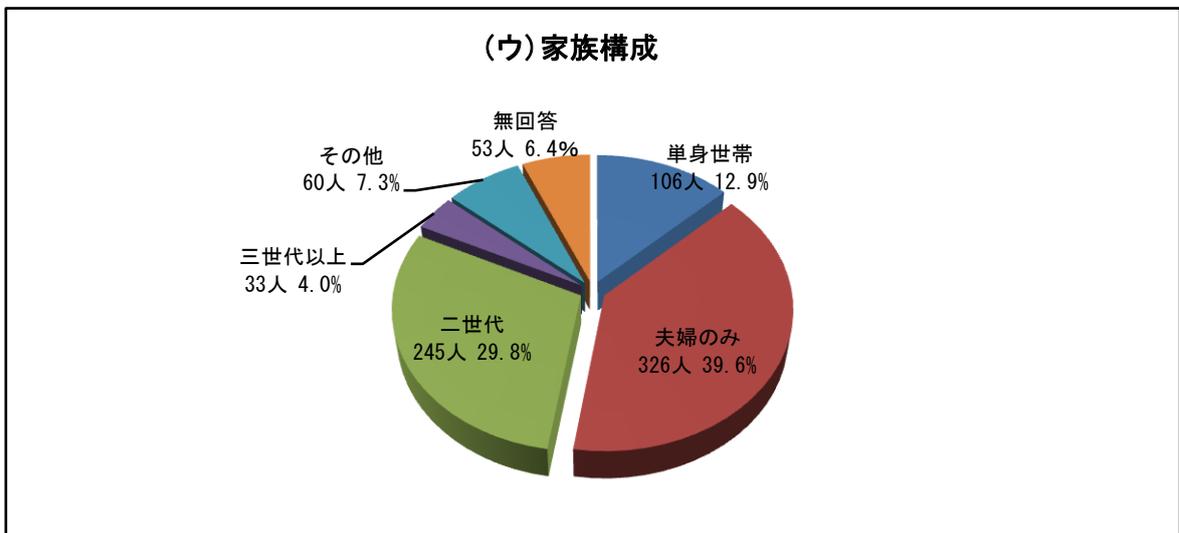
外側の円グラフは調査対象者全体 (1,650 人) に対する人口構成比を表しています。内側の回収数 (823 人) に対する年代別構成比と比較すると、ちょうど 40 歳代・50 歳代の回収数が人口構成比とほぼ同じであり、それ以下の年代になると回収率が低くなっています。若い世代の回収率の低さは、次頁の表でもわかります。



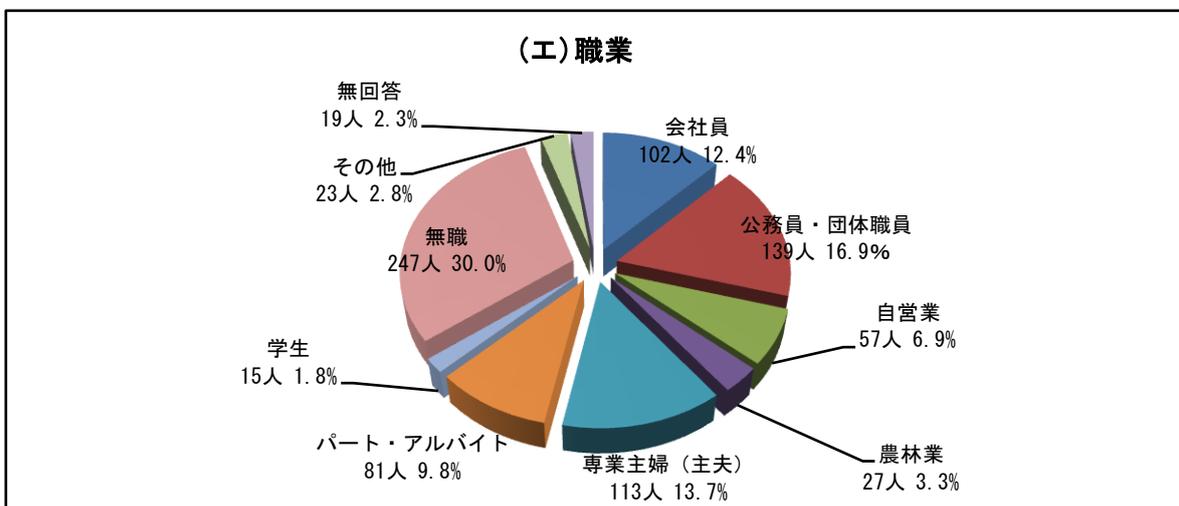
このことから、各設問における回答の傾向としては、年齢の高い世代の意見がより反映された結果になることも考えられます。



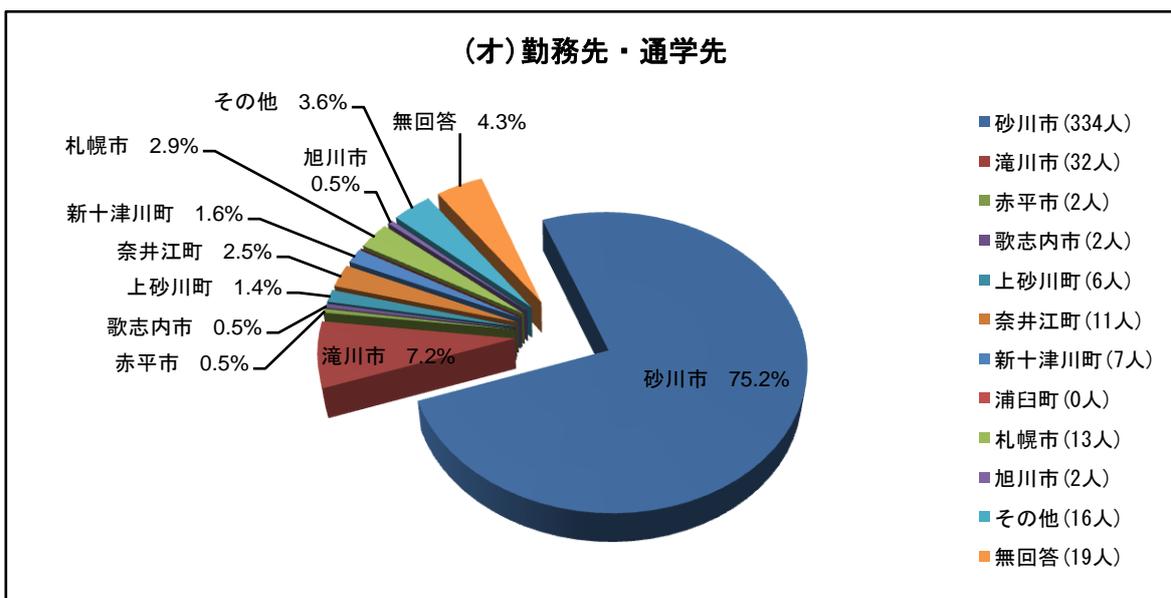
家族構成については、「夫婦のみ」が 39.6%と最も高く、「二世帯」(29.8%)、「単身世帯」(12.9%)と続きます。「夫婦のみ」と「単身世帯」を合わせると5割を超え、砂川市においても核家族化が進んでいることがうかがえます。



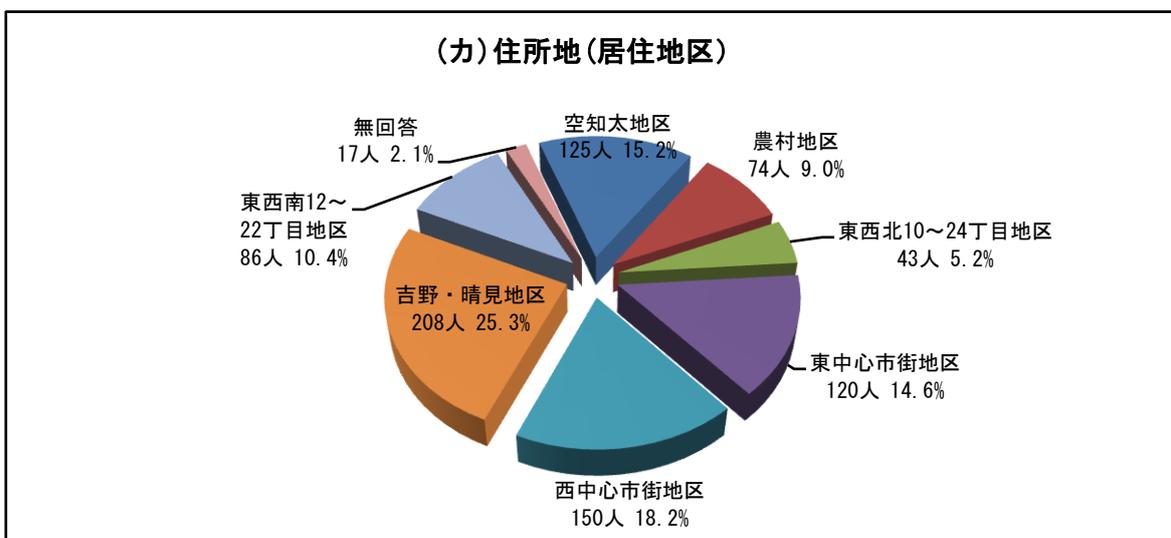
職業については、「無職」が 30.0%と最も高く、「公務員・団体職員」(16.9%)、「専業主婦(主夫)」(13.7%)、「会社員」(12.4%)と続きます。



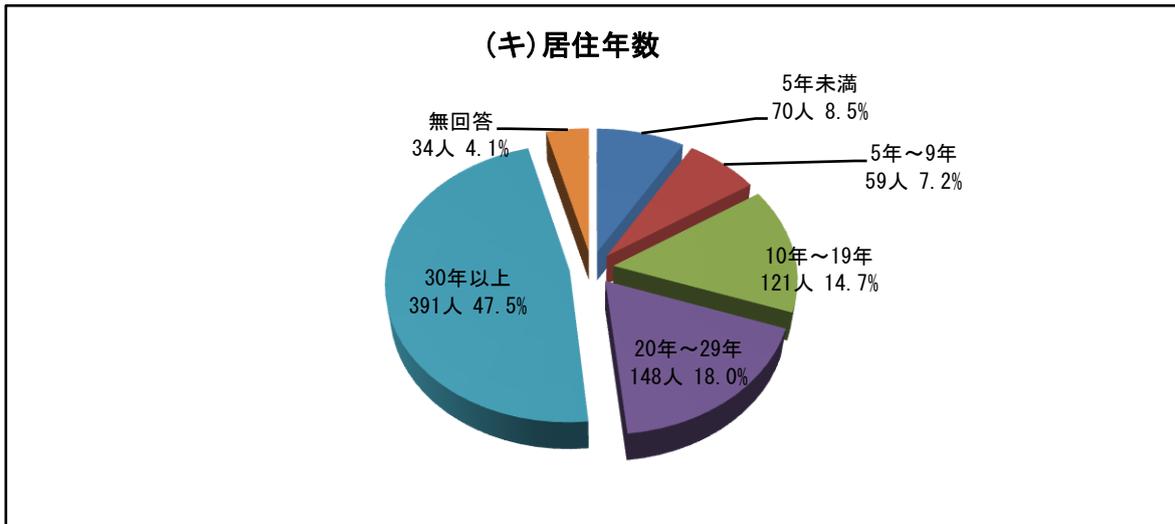
勤務先・通学先については、「砂川市」が75.2%と最も高く、「滝川市」(7.4%)、「その他」(2.9%)と続きます。



住所地(居住地区)については「吉野・晴見地区」が25.3%と最も高く、「西中心市街地区」(18.2%)、「空知太地区」(15.2%)「東中心市街地区」(14.6%)と続きます。



居住年数については、「30年以上」が47.5%と最も高く、「20年～29年」(18.0%)、「10年～19年」(14.7%)と続きます。



【問2】あなたは、これまでの砂川市のまちづくりに、どの程度満足していますか。また、今後、取り組むべき重要度についてもお答えください。

(1つ選択)

満足度が高かった項目は、「公共下水道の整備」、「消防・救急体制の充実」、「良質な水道水の安定供給」、「河川などの災害を未然に防ぐ環境整備」、「ごみの減量化やごみ処理施設の整備」の順となっており、生活環境の分野に対して満足度が高いという結果になっています。

また、満足度が低かった項目は、「雇用の確保・拡大と労働環境の充実」、「商店街の活性化と中心市街地のにぎわい」、「地元企業の育成と活性化・新規企業誘致」の順となっており、産業振興の分野に対して満足度が低いという結果になっています。

満足度が高かった 20 項目

満足度が低かった 20 項目

順位	施策	ポイント	順位	施策	ポイント
1	公共下水道の整備	3.79	1	雇用の確保・拡大と労働環境の充実	2.07
2	消防・救急体制の充実	3.73	2	商店街の活性化と中心市街地のにぎわい	2.08
3	良質な水道水の安定供給	3.68	3	地元企業の育成と活性化・新規企業の誘致	2.33
4	河川などの災害を未然に防ぐ環境整備	3.67	4	介護保険制度の充実	2.70
5	ごみの減量化やごみ処理施設の整備	3.60	5	高齢者医療保険制度の充実	2.75
6	緑化の取り組みによる美しい景観づくり	3.51	6	冬の除雪状況	2.77
7	医療体制の充実	3.45	7	農林業における生産力・ブランド力の向上	2.80
8	公園などの整備や利用のしやすさ	3.37	8	砂川の知名度アップ	2.83
9	生活道路の整備状況	3.35	9	高齢者福祉の充実	2.83
10	交通安全対策	3.30	10	計画的で健全な財政運営	2.85
11	図書館などの学習施設の充実	3.29	11	国民年金制度の周知・推進	2.86
12	芸術や文化に親しむ施設や機会の充実	3.25	12	効果的で効率的な行政運営	2.87
13	健康づくり事業など保健活動の推進	3.21	13	民間活力導入による、まちづくりの推進	2.89
14	地震や風水害などへの防災対策	3.20	14	近隣市町との連携強化	2.89
15	スポーツ・レクリエーション施設の充実	3.19	15	消費者を保護するための相談体制の充実	2.91
16	公営住宅の整備状況	3.18	16	地域における福祉支援体制づくり	2.92
17	環境汚染などを防ぐ公害対策	3.18	17	観光産業の発展やイベントの充実	2.92
18	生涯学習環境の充実	3.09	18	生活困窮者支援の充実	2.92
19	犯罪の未然防止対策	3.07	19	障害者福祉の充実	2.94
20	コミュニティ活動に必要な環境整備	3.07	20	心身に障害を持つ児童の就学支援の充実	2.95

重要度が高いとされた項目は、「医療体制の充実」、「高齢者福祉の充実」、「雇用の確保・拡大と労働環境の充実」、「商店街の活性化と中心市街地のにぎわい」の順となっており、高齢化対策や雇用対策への期待がうかがえます。

また、重要度が低いとされた項目は、「公営住宅の整備状況」、「スポーツ活動への支援」、「情報通信ネットワーク環境の充実」、「男女が共に社会参画できる環境づくり」の順となっています。

重要度の高かった 20 項目

重要度の低かった 20 項目

順位	施策	ポイント	順位	施策	ポイント
1	医療体制の充実	4.50	1	公営住宅の整備状況	3.48
2	高齢者福祉の充実	4.43	2	スポーツ活動への支援	3.48
3	雇用の確保・拡大と労働環境の充実	4.40	3	情報通信ネットワーク環境の充実	3.51
4	商店街の活性化と中心市街地のにぎわい	4.28	4	男女が共に社会参画できる環境づくり	3.51
5	高齢者医療保険制度の充実	4.27	5	芸術や文化に親しむ施設や機会の充実	3.52
6	冬道の除雪状況	4.26	6	コミュニティ活動に必要な環境整備	3.52
7	地元企業の育成と活性化・新規企業の誘致	4.26	7	緑化の取り組みによる美しい景観づくり	3.54
8	児童福祉・子育て支援の充実	4.25	8	公園などの整備や利用のしやすさ	3.55
9	介護保険制度の充実	4.21	9	スポーツ・レクリエーション施設の充実	3.60
10	消防・救急体制の充実	4.18	10	生涯学習環境の充実	3.63
11	計画的で健全な財政運営	4.14	11	図書館などの学習施設の充実	3.67
12	良質な水道水の安定供給	4.11	12	市民参加による、まちづくりの推進	3.74
13	砂川の知名度アップ	4.10	13	生活困窮者支援の充実	3.77
14	小中学校教育の充実	4.10	14	生活道路の整備状況	3.78
15	障害者福祉の充実	4.09	15	消費者を保護するための相談体制の充実	3.84
16	ごみの減量化やごみ処理施設の整備	4.07	16	環境汚染などを防ぐ公害対策	3.84
17	犯罪の未然防止対策	4.05	17	観光産業の発展やイベントの充実	3.84
18	買物の便利さ	4.05	18	民間活力導入による、まちづくりの推進	3.85
19	国民健康保険制度の運営	4.04	19	近隣市町との連携強化	3.87
20	国民年金制度の周知・推進	4.03	20	健康づくり事業など保健活動の推進	3.88

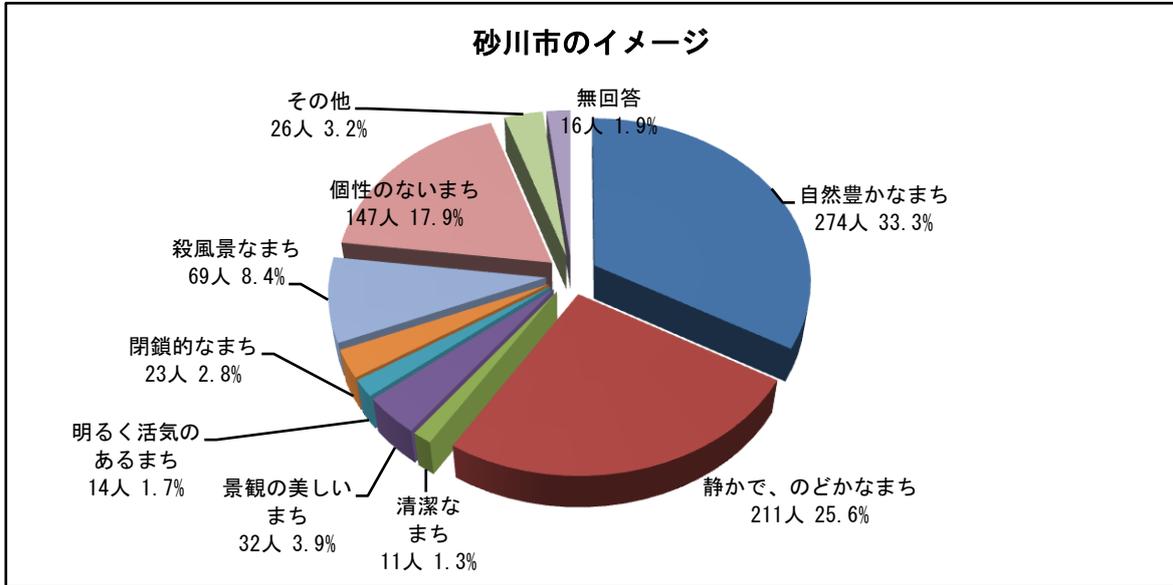
さらに、この満足度と重要度のポイントを散布図に表すと別添「問2 散布図」となります。

拡大図の左上のエリアは、「重要度が高い」にもかかわらず「満足度が低い」ということから市民ニーズが高く、今後の課題ともなるべき項目だといえますが、ここには「産業振興」及び「保健・医療・福祉」の分野の項目が多く入りました。また、右上のエリアは「重要度が高く」、「満足度が高い」というエリアであります。ここには「医療制度の充実」はもとより、「生活環境」の分野が多く入りました。医療に対する満足度の高さは、現在改築中である砂川市立病院に対する期待の高さとも受け取れます。一方、右下のエリアは、比較的「重要度が低く」、「満足度が高い」というエリアで、ここに入ると現状で比較的満足されている施策であるといえますが、「生活環境」及び「教育」の分野の項目が多く入りました。

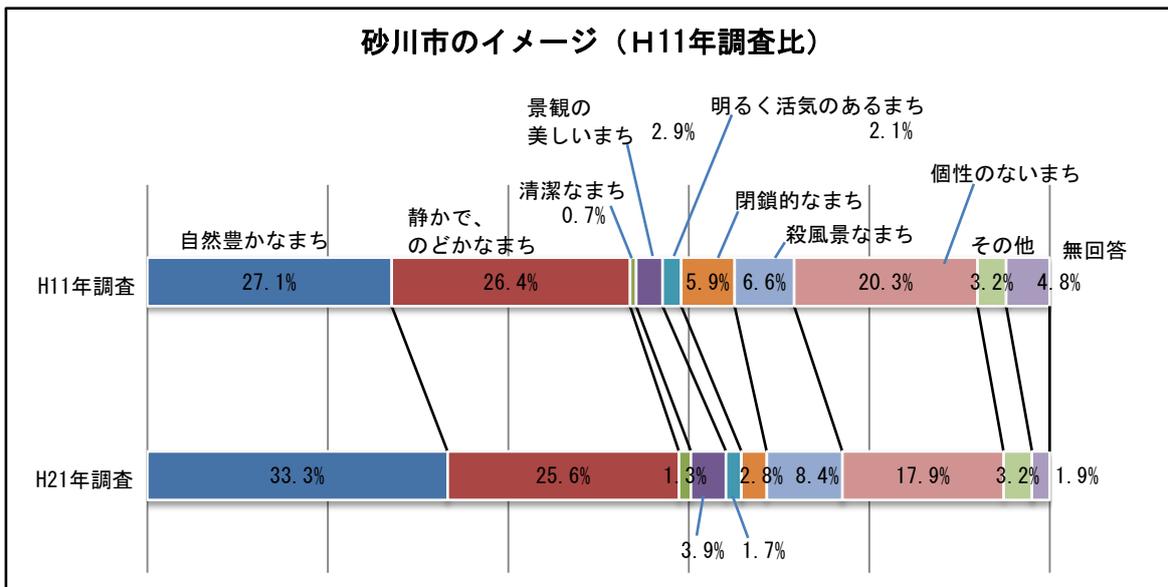
調整ページ

【問3】あなたは、砂川市にどのようなイメージ（印象）を持っていますか。
（1つ選択）

砂川市のイメージについては「自然豊かなまち」が33.3%と最も高く、「静かで、のどかなまち」
（25.6%）、「個性のないまち」（17.9%）と続きます。



平成11年度調査と比較すると、「自然豊かなまち」というイメージが27.1%から33.3%に増え、「個性のないまち」は20.3%から17.9%に減り、「閉鎖的なまち」も5.9%から2.8%に減っています。各項目とも微増、微減ではありますが、全体的に良いイメージが伸びています。



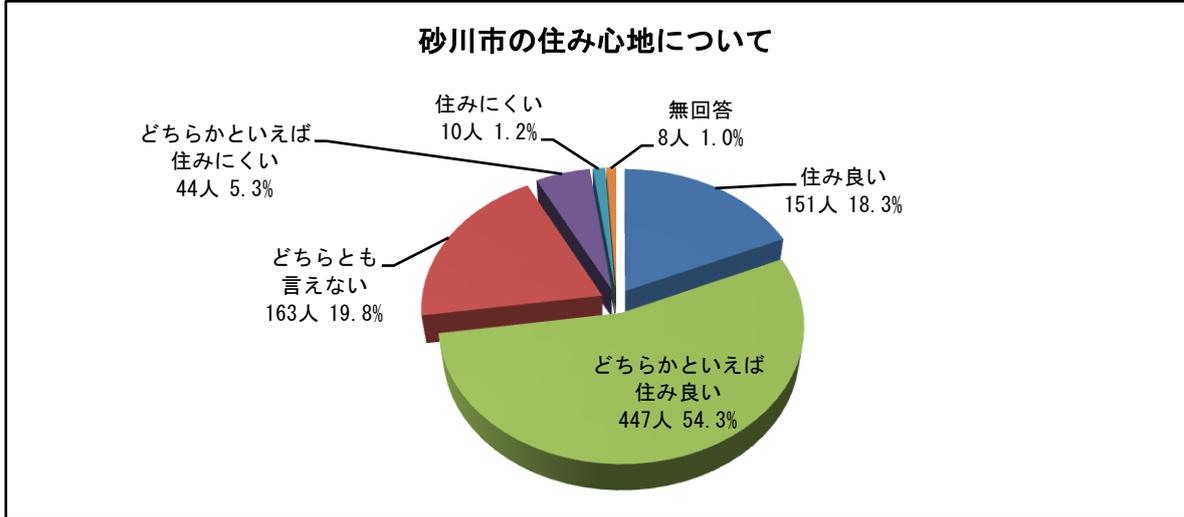
【「その他」の記述】

- ・公園。
- ・これからは医療体制の整ったまち。
- ・病院（医療）の充実しているまち。
- ・お菓子が美味しいまち。
- ・お菓子のまち。
- ・生活しやすいまち。
- ・交通の便が良いまち。
- ・過疎。
- ・田舎。
- ・保守的。
- ・ループ橋。日本一の笑われた市。
- ・ムダな建設物をよく作るまち。
- ・官庁関係、市役所等の建造物に古い建物を大切に使用しているところはとてもいいまち。
- ・商店街に活気が無く、空き店舗が多いイメージ。
- ・衣料品の店が無い。
- ・静か過ぎて活気が無い。
- ・暗いイメージ。
- ・自然が豊かで良いが、活気が少ない。
- ・おもしろみのないまち。
- ・閉鎖的で個性のないまち。
- ・砂川市の表現がない。
- ・中途半端。
- ・温泉がないまち。
- ・家賃が高いまち。

【問4】総合的に見て、現在の砂川市の住み心地はいかがですか。

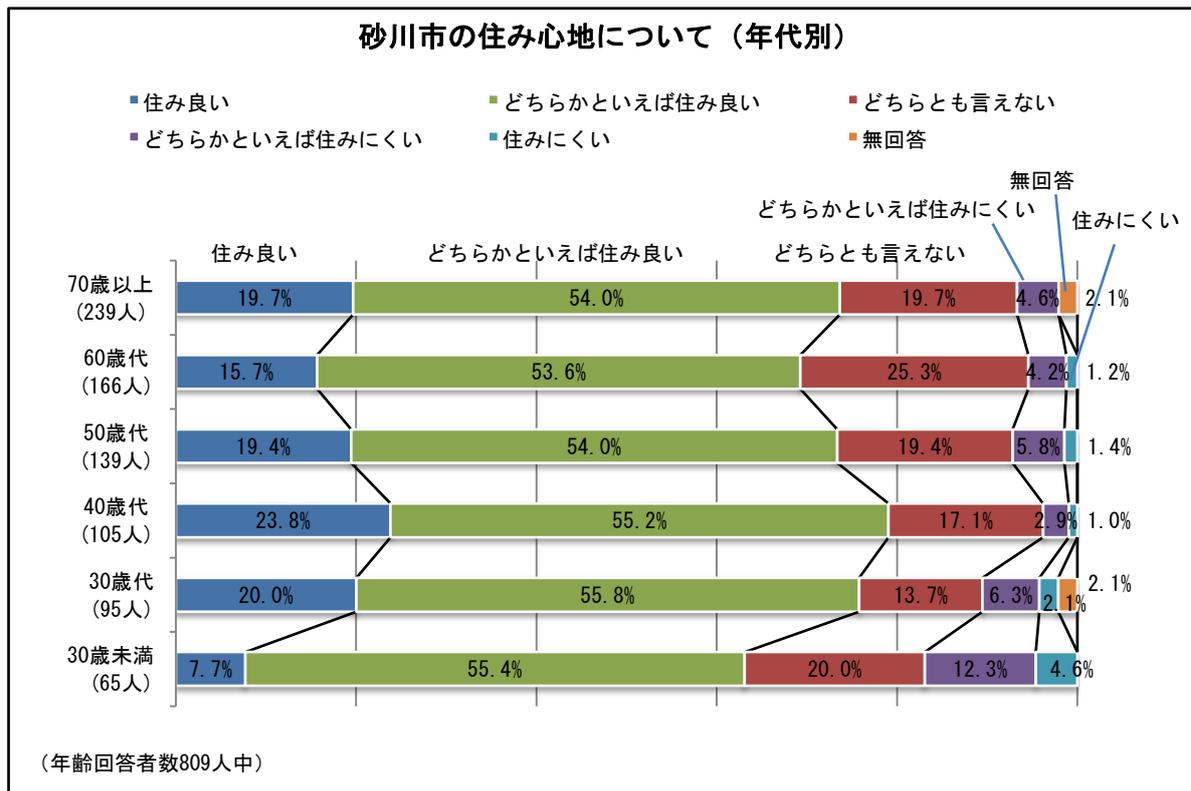
(1つ選択)

砂川市の住み心地については、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」を合わせると72.6%となり、7割を超える市民が砂川をおおよそ住み良いと考えています。



年代別にみると、「住み良い」という回答が一番多いのが40歳代で、2割を超えています。「どちらかといえば住み良い」を加えても30歳代、40歳代が、他の世代よりも住み心地が良いと考えています。

また、30歳未満の「住み良い」という回答は全世代の中で唯一1割に達せず、逆に「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせると16.9%となるなど、他の年代との差が目立ちます。

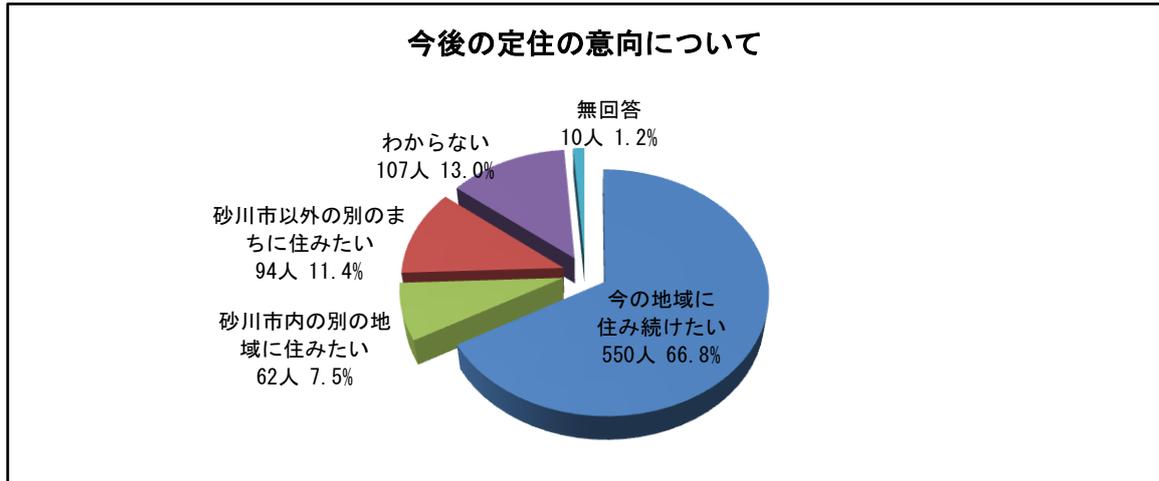


【問5】あなたは、今後も現在住んでいる地域に住んでいたいと思いますか。

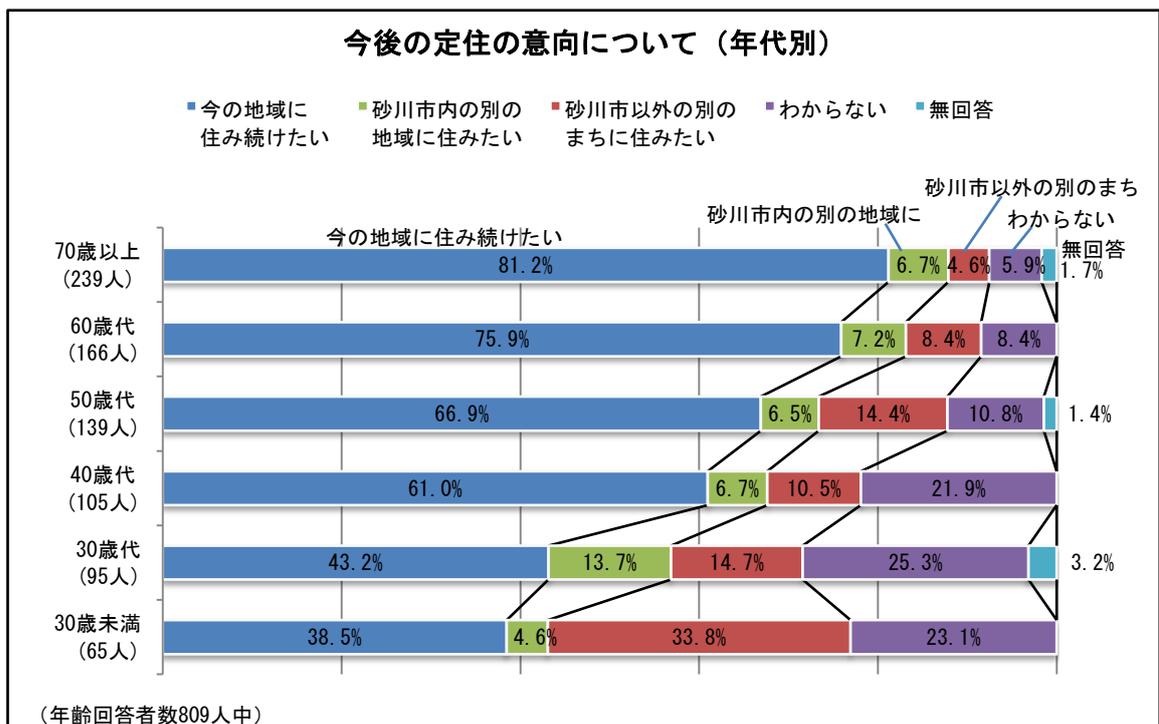
(1つ選択)

「今の地域に住み続けたい」が66.8%と最も高く、「砂川市以外の別のまちに住みたい」(11.4%)、「砂川市内の別の地域に住みたい」(7.5%)と続きます。

「今の地域」と「市内の別の地域」を合わせると74.3%で、7割を超える市民が今後も砂川市に住む意向を持っています。



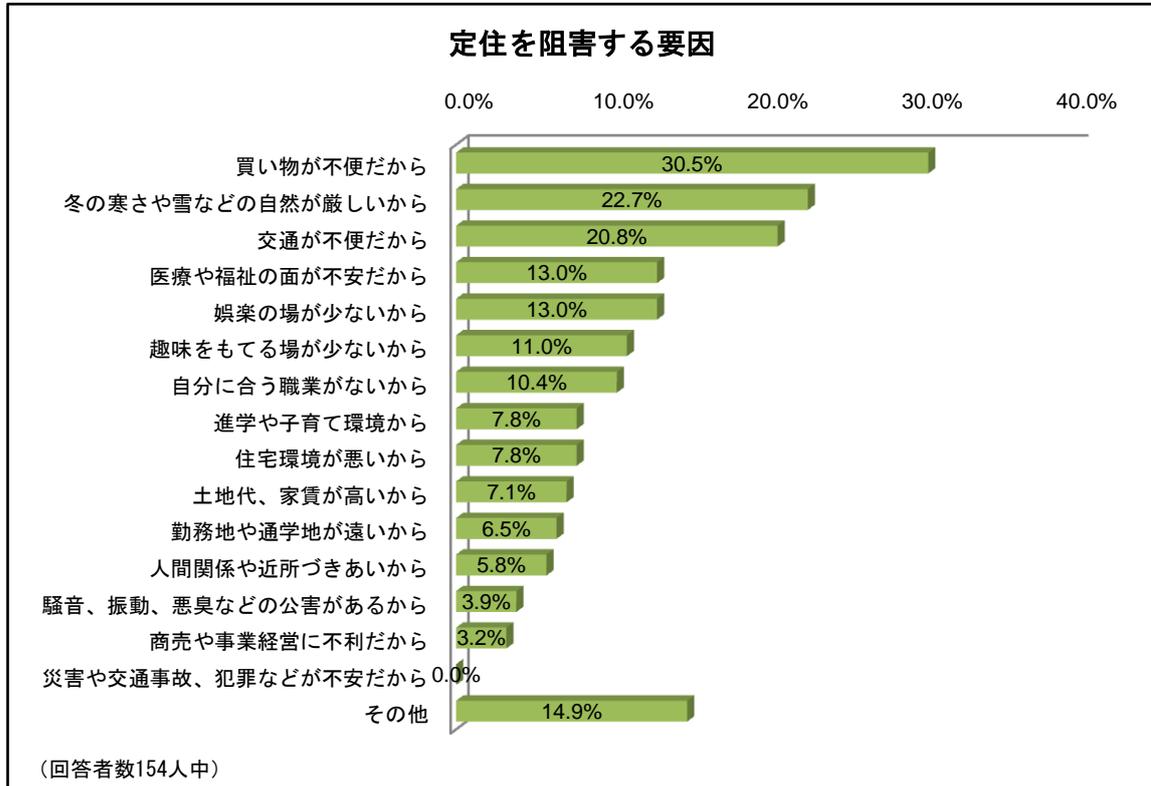
年代別にみると、年代が高くなるほど「今の地域に住み続けたい」という回答が高くなっていきます。一方で「砂川市以外の別のまちに住みたい」という回答は30歳未満で高く、若い世代の砂川への定住志向は、他の年代よりも低くなっています。



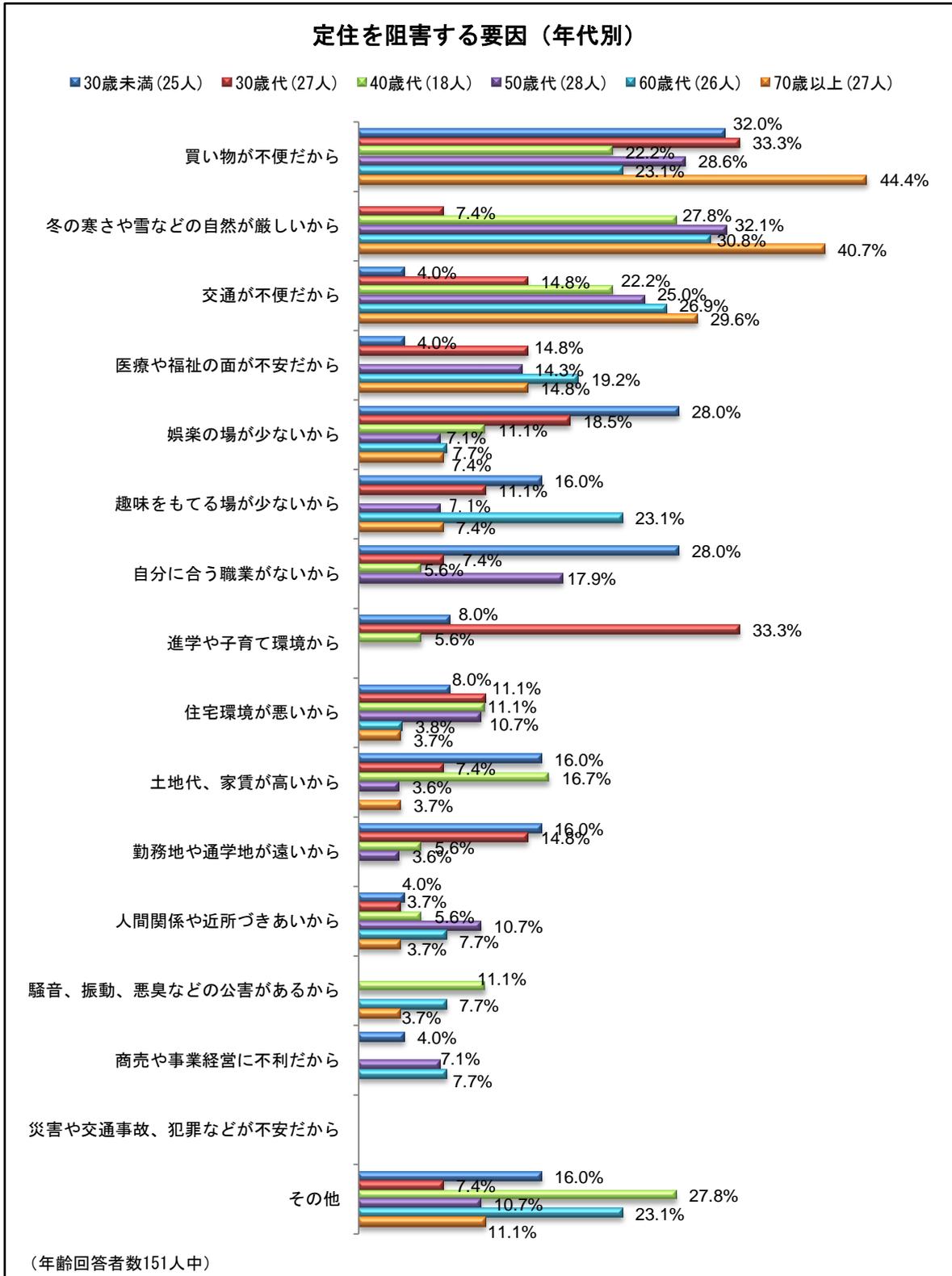
【問5-2】別の地域、または別のまちに住みたい主な理由は何ですか。

(問5で2か3を選んだ方 複数回答・2つまで)

別の地域、または別のまちに住みたい理由としては、「買い物が不便だから」が30.5%と最も高く、「冬の寒さや雪など自然が厳しいから」(22.7%)、「交通が不便だから」(20.8%)と続き、買い物や交通・冬の除雪などの面で生活に不便を感じていることがわかります。



年代別にみると、各世代共通して「買い物が不便だから」が高くなっています。30歳未満では「娯楽の場が少ない」や「自分に合う職業がない」などが高く、雇用環境の充実などが求められています。30歳代では「進学や子育て環境」への関心が高く、他の世代との差が目立ちます。比較的高齢の世代は「冬の寒さや雪など自然が厳しい」、「交通が不便だから」が高く、「買い物が不便であること」を合わせると老後の生活環境・暮らしやすさに対する不安がうかがえます。



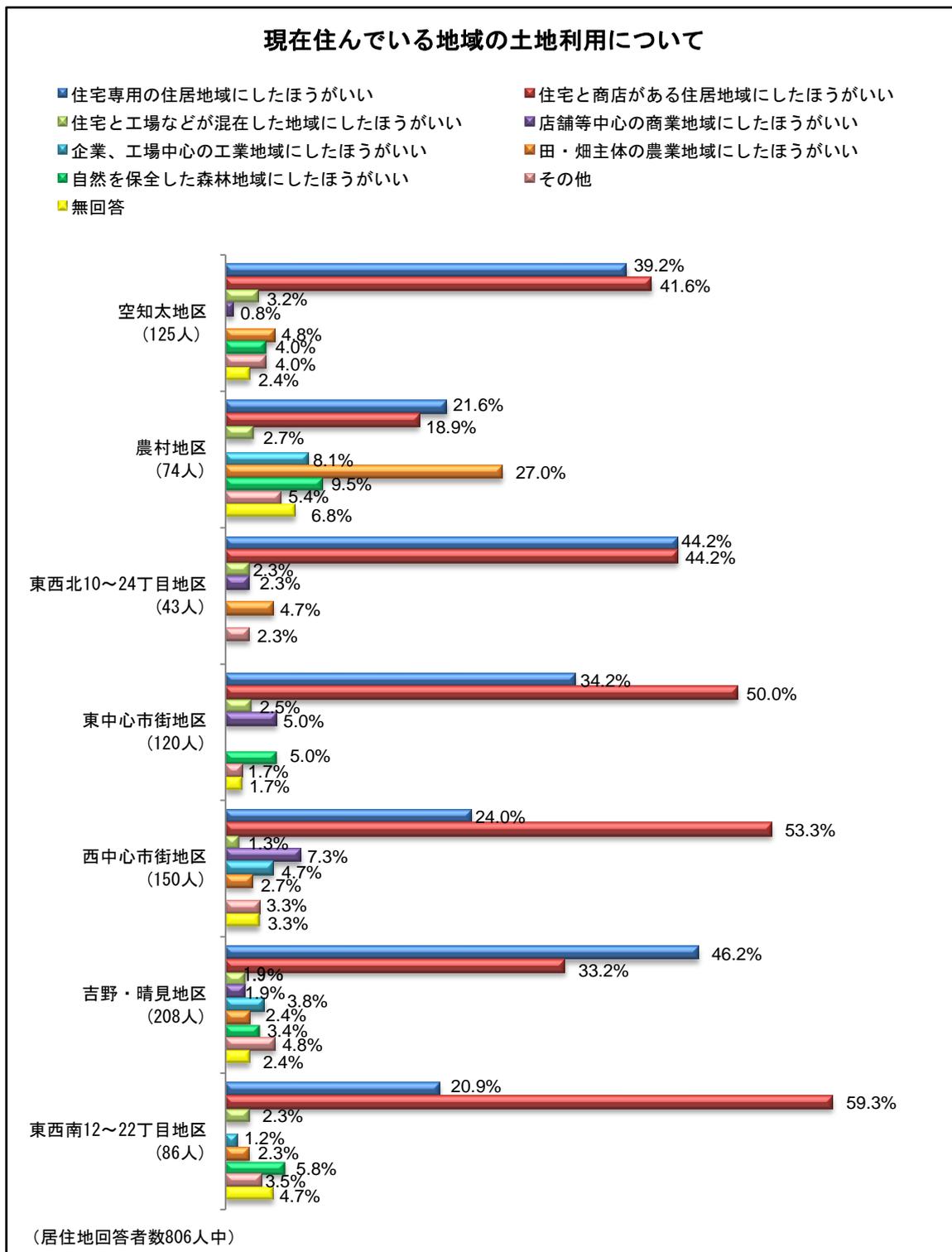
【「その他」の記述】

- ・ 排雪が、年に一度しかないから。
- ・ 雪捨てが大変なので。
- ・ (他のまちは) 雪が少ない。
- ・ 税金、水道代が高いから。
- ・ 税金が高いから。
- ・ 他の市に住宅がある。
- ・ 出身地だから。
- ・ 札幌が地元なので。
- ・ 親族がいるから。
- ・ 子供の所へ(行く)。
- ・ へき地に住みたい為。
- ・ 海がある地域に住みたいから。
- ・ 札幌市は適当に都会であり適当に田舎だから。
- ・ 家族と離れて暮らしたい。
- ・ 市営住宅で会社の車には駐車場をかしてくれないから！
- ・ 生活環境が不便。
- ・ 現在住んでいる富平は交通が不便だから。だんだん高齢になってくると、いずれは車の運転が出来なくなる。
- ・ シニア向けの賃貸住宅がない。
- ・ 若年者のための住宅がない。
- ・ 市内企業で安定した職場が少ない様に見受けられる。
- ・ 子育ての支援が不足している。
- ・ 子どもセンター等が機能していない。
- ・ 教育にお金をかけていない。
- ・ 近隣との交流がないから。
- ・ 自閉症の息子が生活する環境が整っていない。
- ・ デパートとおいしい食べ物屋がないから。
- ・ 畑の作物を盗む人間がいる。

【問6】現在お住まいの地域について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

(1つ選択)

農村地区を除いて、どの地区も「住宅専用の住居地域」と「住宅と商店のある住居地域」を望む回答が多くなっています。「吉野・晴見地区」では「住宅専用の住居地域にしたほうが良い」が多く、「東中心市街地区」、「西中心市街地区」、また、特に「東西南12～22丁目」では「住宅と商店のある住居地域にしたほうが良い」という回答が多く見られました。他の設問も併せて考えると、住宅周辺で買い物もできるような環境整備への志向が高いことがうかがえます。



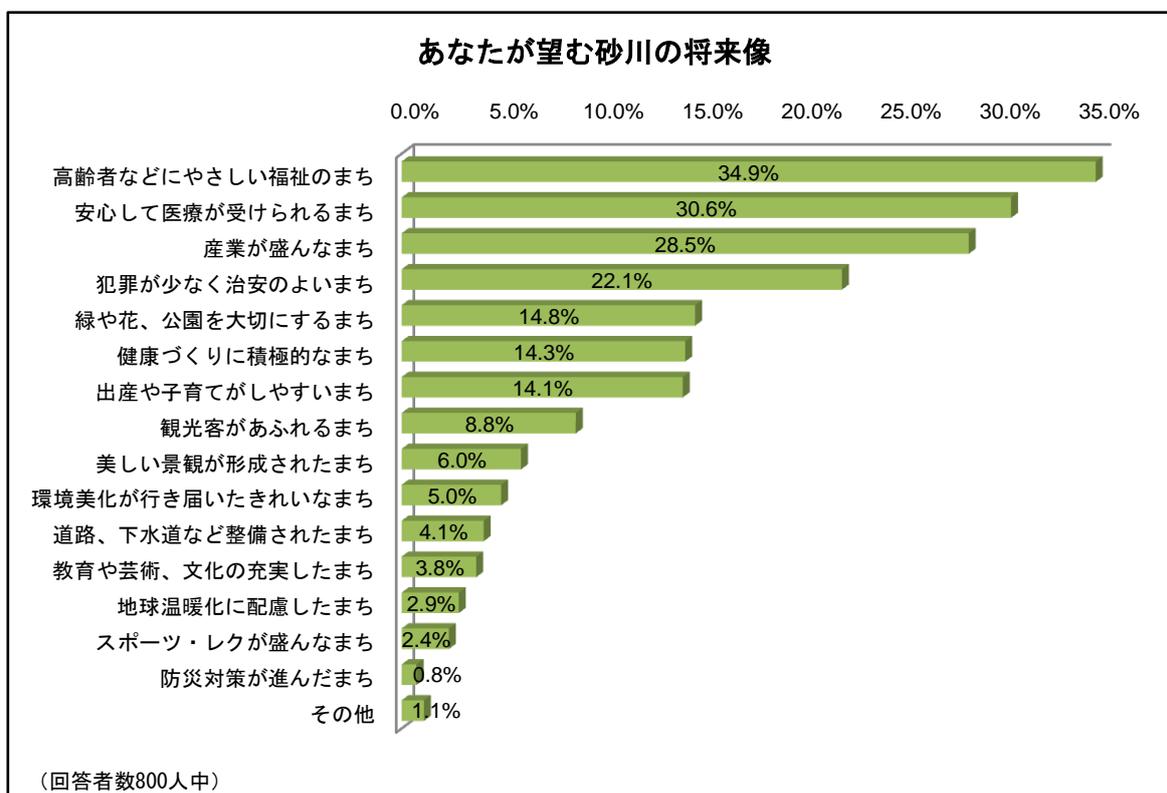
【「その他」の記述】

- ・このままでよい。(9) … 空知太地区 (2)、西中心市街地区 (2)、吉野・晴見地区 (2)、
東西北10~24丁目地区、東中心市街地区、東西南12~22丁目地区
- ・もともと住宅専用の閑静な地域なので、このままがよい。(2) … 吉野・晴見地区 (2)
- ・住宅と工場などが混在した地域にした方がいいと思いますが、公害等の事を考えると、どちらとも
いえないです。… 農村地区
- ・自然を保全した商業も盛んな地域。… 空知太地区
- ・年をとっているので静かな方がいい。… 住所無記入
- ・住宅が多いのに対して、スーパーマーケット等買物が近くできると高齢者はうれしいと思う。
…空知太地区
- ・私の町内は、高齢者が多く車を利用しなければ買い物にいきません。歩いていけるスーパーなど
があれば、高齢者の不安がなくなるような気がします。… 空知太地区
- ・現在、地域性が決まっているのでどうしようもない。… 東中心市街地区
- ・住居と学園がある住居地域で、住人と学生が密着した方がいい。… 吉野・晴見地区

【問7】あなたは、砂川市がどんなまちになることを望みますか。

(複数回答・2つまで)

砂川の将来像については「高齢者などにやさしい福祉のまち」が34.9%と最も高く、「安心して医療が受けられるまち」(30.6%)、「産業が盛んなまち」(28.5%)、「治安のよいまち」(22.1%)と続き、高齢者などへの支援策や、安心・安全な暮らしのための施策が望まれていることがうかがえます。



総合的な結果は以上のようにりましたが、年代別で、将来望まれるまちの姿に差が出るのか、それぞれの年代ごとに順位をつけました。

総合1位であった「高齢者などにやさしい福祉のまち」は50歳以上の高い世代で1位となっています。40歳代で1位となっているのが、「安心して医療が受けられるまち」、30歳代以下では「出産や子育てがしやすいまち」と、世代間に差が見られます。また、全世代で平均して高い割合を占めたのが「産業が盛んなまち」となっています。

	30歳未満 (65人)	30歳代 (93人)	40歳代 (105人)	50歳代 (139人)	60歳代 (165人)	70歳以上 (233人)
高齢者などにやさしい福祉のまち	6位 (12.3%)	6位 (17.2%)	3位 (24.8%)	1位 (35.3%)	1位 (40.6%)	1位 (48.5%)
安心して医療が受けられるまち	4位 (24.6%)	4位 (24.7%)	1位 (41.9%)	2位 (33.8%)	3位 (28.5%)	2位 (29.2%)
産業が盛んなまち	2位 (27.7%)	4位 (24.7%)	2位 (27.6%)	3位 (28.8%)	2位 (32.1%)	3位 (27.9%)
犯罪が少なく治安のよいまち	6位 (12.3%)	2位 (32.3%)	3位 (24.8%)	4位 (20.9%)	4位 (21.2%)	4位 (21.0%)
緑や花、公園を大切にすまち	3位 (26.2%)	3位 (26.9%)	6位 (11.4%)	6位 (12.2%)	6位 (13.3%)	6位 (10.7%)
健康づくりに積極的なまち	10位 (6.2%)	9位 (5.4%)	7位 (9.5%)	5位 (18.7%)	5位 (18.8%)	5位 (16.3%)
出産や子育てがしやすいまち	1位 (30.8%)	1位 (37.6%)	5位 (16.2%)	7位 (11.5%)	7位 (7.3%)	8位 (5.6%)
観光客があふれるまち	5位 (18.5%)	7位 (10.8%)	10位 (5.7%)	7位 (11.5%)	8位 (6.7%)	7位 (6.4%)
美しい景観が形成されたまち	10位 (6.2%)	10位 (4.3%)	8位 (7.6%)	9位 (7.2%)	8位 (6.7%)	10位 (4.7%)
環境美化が行き届いたきれいなまち	8位 (7.7%)	11位 (3.2%)	8位 (7.6%)	10位 (4.3%)	10位 (5.5%)	12位 (3.9%)
道路、下水道など整備されたまち	13位 (4.6%)	- (0.0%)	10位 (5.7%)	11位 (2.9%)	11位 (4.2%)	8位 (5.6%)
教育や芸術、文化の充実したまち	10位 (6.2%)	8位 (6.5%)	12位 (4.8%)	13位 (2.2%)	12位 (3.6%)	13位 (2.6%)
地球温暖化に配慮したまち	- (0.0%)	12位 (2.2%)	14位 (1.9%)	11位 (2.9%)	13位 (2.4%)	10位 (4.7%)
スポーツ・レクが盛んなまち	8位 (7.7%)	14位 (1.1%)	13位 (3.8%)	14位 (0.7%)	14位 (1.2%)	13位 (2.6%)
防災対策が進んだまち	- (0.0%)	12位 (2.2%)	- (0.0%)	14位 (0.7%)	14位 (1.2%)	16位 (0.4%)
その他	13位 (4.6%)	14位 (1.1%)	15位 (1.0%)	- (0.0%)	- (0.0%)	15位 (1.7%)

【「その他」の記述】

- ・各学校における学校、学級経営能力の向上、学力。
- ・道徳心の高い、小中学生の多いまち。
- ・産業が盛んであれば、若者の職場が増えて、まちの税収入になり、当然今後大切な若者にも住みよい環境づくりにも税金でまかなえると思います。
- ・お年寄りから若者までみんなが生き生きと働き生活しているまち。
- ・赤ちゃんがたくさん生まれるまちに。
- ・高齢者が安心して生活できるまち。
- ・グルメなまち。
- ・娯楽施設や大手企業のスーパーがもっとあっても良い。
- ・12号線沿いにある様な流雪溝を各地域に広げ、除雪が楽であるまち。
- ・人間が快適な生活を営む事からすれば、1～15までの項目はどれも欠かせないものと考えます。強いて言うなれば、幼児、子供から高齢者までが安心して暮らす事ができる、医療、介護が充実した健康なまちづくりが大切であると思います。

【問7-2】今後10年間のまちづくりの基本目標として「砂川市は、こんなまちをめざしてほしい」というものがあればお書きください。
(自由回答)

この問は、回答者に「砂川市にどのようなまちづくりをしてほしいと考えているのか」をお聞きしました。

357名から373件のご意見がありましたが、傾向としては、「まちづくり全般」に分類された記述の内容を含め、「医療・保健・福祉」、「産業振興」、「都市基盤」の分野に関するものが増えていきます。

「医療・保健・福祉」では、老後を心配して、医療機関の充実や福祉施設（老人ホーム等）の充実を望む声、「産業振興」では、若者の流出を防ぐため、雇用の確保を望む声、「都市基盤」では、公共交通の利便性向上や市内循環バスの運行など、日常生活における移動手段の対策を望む声が多くありました。

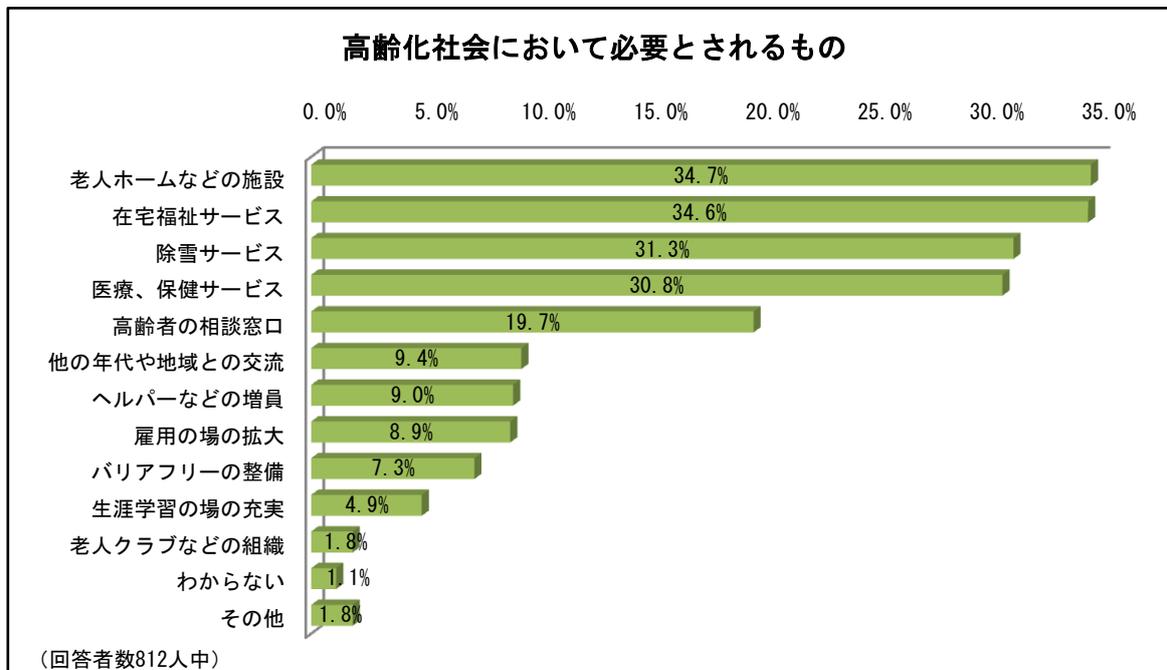
意見の分野別件数

分 野	件 数
まちづくり全般	93
市民参画・コミュニティ・行政運営	10
教育・文化・スポーツ	12
生活環境・防災	9
医療・保健・福祉	110
産業振興	91
都市基盤	36
その他	12
計	373

【問8】あなたが、老後を快適で豊かに暮らすためには何が大切とお考えですか。

(複数回答・2つまで)

「老人ホームなどの施設」が34.7%、「在宅福祉サービス」が34.6%となっており、介護支援に対する関心の高さがうかがえます。次に「除雪サービス」(31.3%)、「医療、保健サービス」(30.8%)と続きます。

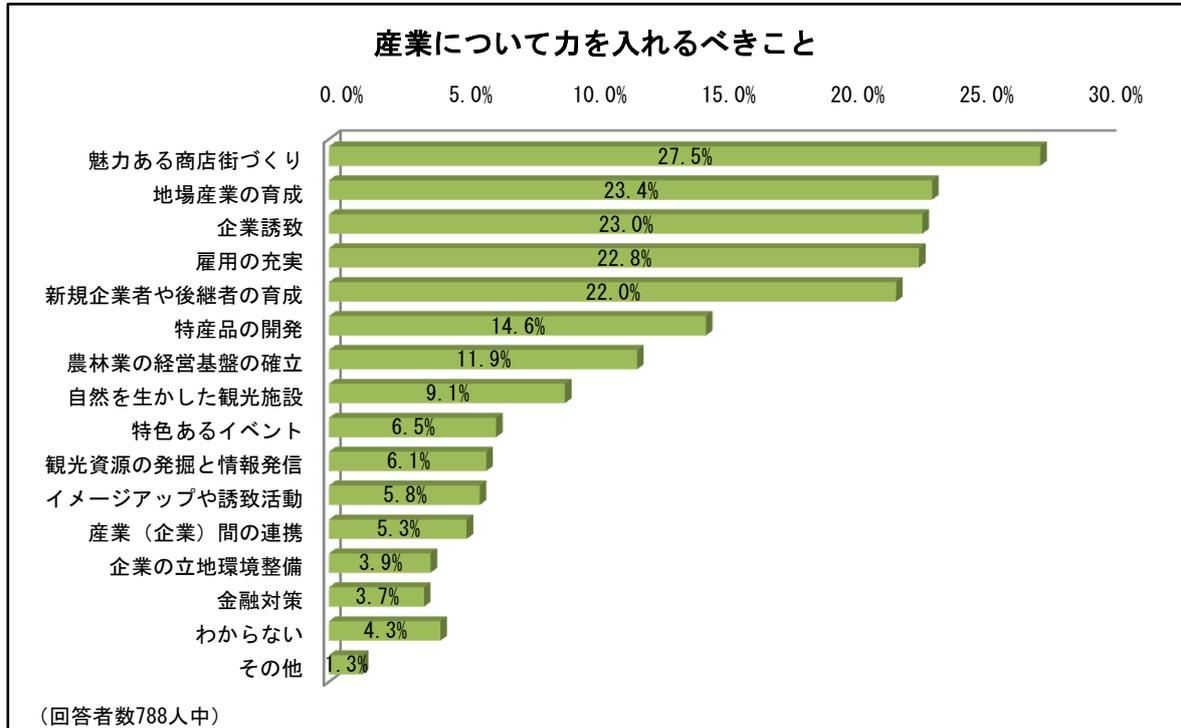


【「その他」の記述】

- ・ 福寿園とか宮川みたいな施設の増設。
- ・ 望む人がすべて施設に入ることができるように。福寿園のように立派なものはいりません。贅沢すぎます。
- ・ 街の中（商業地）で集合住宅の高齢施設。
- ・ 老人同士が数名一緒に暮らせるアパート等、元気なのに一人身だからと言って老人ホームに入りたいと思わない方のため、そういう人が何人かで共同生活出来る場もあったらいいと思います。
- ・ 高齢者の家族が高齢者についての相談が出来たり、解決していきやすい窓口の充実。
- ・ 配達可能な商店を増やす。
- ・ 通院介助が可能なボランティア組織の整備。
- ・ 国民年金でも暮らして行けるまち。
- ・ 老後働けなくなった時には、やはりお金の免除がなければ暮らせないです。
- ・ 生活補助の財政支出。
- ・ ペット可のマンションやアパートなど住める所を増やしてほしい。今の時代はペットも家族の一員として世話している人が多いから。

【問9】砂川の産業を振興させるには、今後、どのようなことに力を入れるべきと思いますか。
(複数回答・2つまで)

「魅力ある商店街づくり」が27.5%と最も高く、「地場産業の育成」(23.4%)、「企業誘致」(23.0%)と続きます。傾向としては、商店街の活性化と同時に雇用の創出に対する期待が高いことがうかがえます。

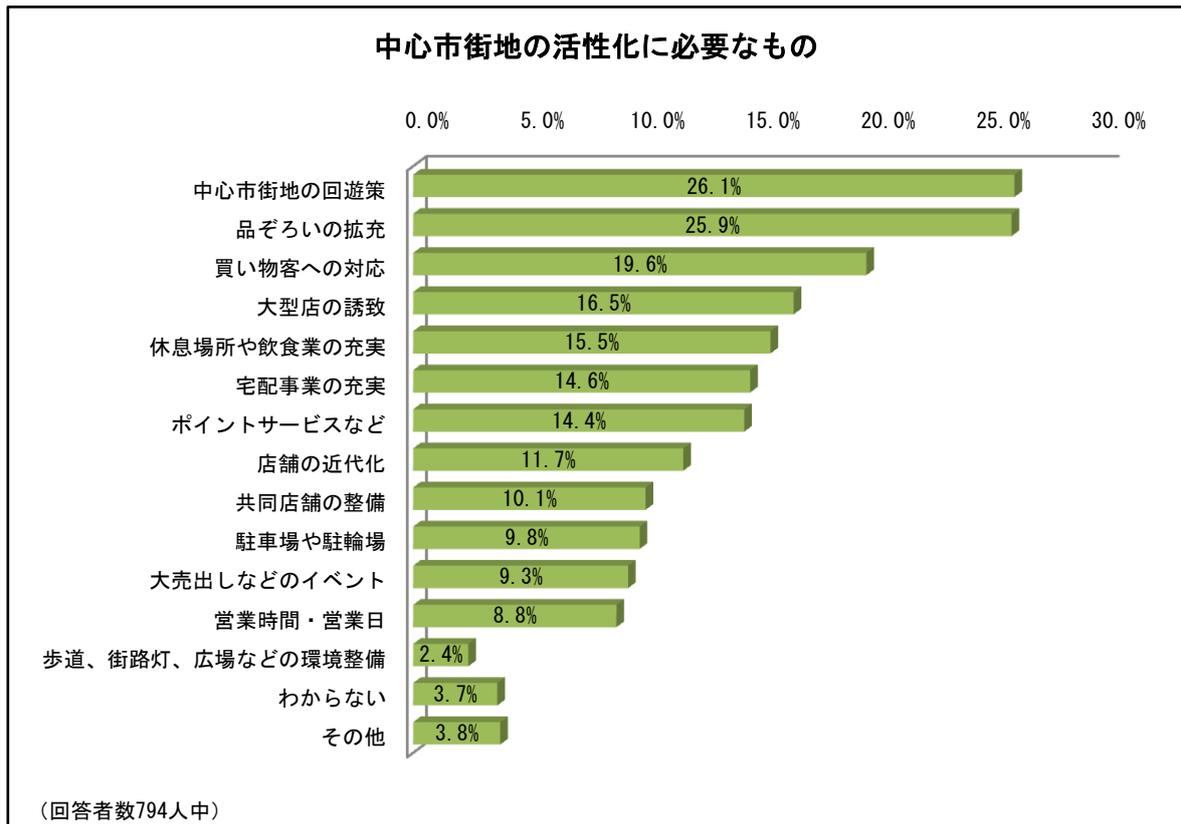


【「その他」の記述】

- ・子どもの国との連携による観光産業。
- ・今ある観光資源のPR集客方法をケタちがいに考えること。
- ・地域の業者をもう少し砂川市に利用してほしい。
- ・病院が大きくなるので、そこからさらに新規企業を参入させ、砂川の経済の基盤をつくる。
- ・農業委員会は廃止すべき。
- ・スイートロードのアンテナショップ。
- ・お菓子・スイートロードの発展。
- ・大勢の市民の意見を出し合って。

【問 10】あなたは、商店街を活性化させ、砂川市内における購買力を高める上で、今後、何が必要とお考えですか。（複数回答・2つまで）

中心市街地の活性化については、「中心市街地の回遊策」が26.1%で最も高く、わずかな差で「品ぞろいの拡充」（25.9%）が続ки、「買い物客への対応」（19.6%）、「大型店の誘致」（16.5%）と続きます。他の設問と比べ「その他」の記述欄に記入する方が多く、この分野に関する市民の関心の高さがうかがえます。



【「その他」の記述】

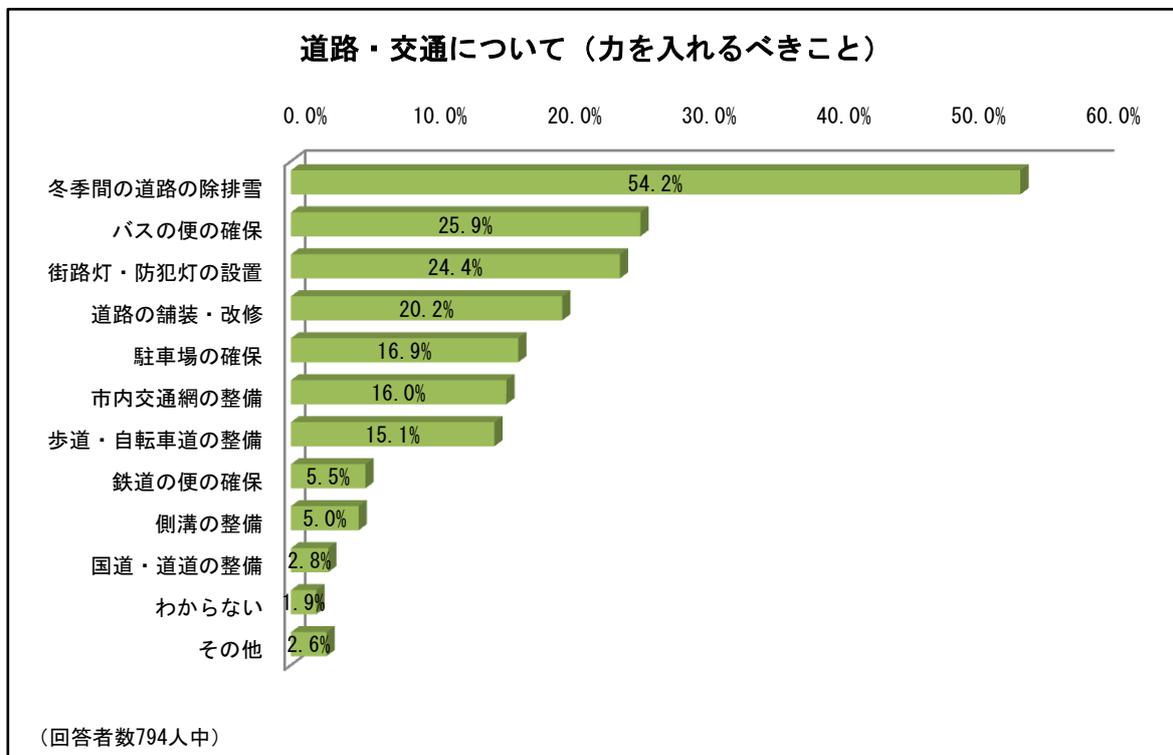
- ・ 遠隔地から無料バスの運行。
- ・ 低料金での循環バス（高齢者）。
- ・ 中心市街地までの交通の便が悪い。
- ・ 赤平市のように（病院＋生協）回遊する交通網の充実。（バスでなくワゴン車など利用してでも高齢者の足となる交通手段の検討）
- ・ 砂川でしか買えない物をあつかう、オーダーメイドなど付加価値を付ける。
- ・ こだわりの店で勝負。
- ・ 個々の商店における専門的（マニアック）な商品及び技術をアピールできるマニュアル作りを行う。
- ・ 大型店とは異なる特色のある商店街を。例えば、より専門性を高める商店街へ特化させる。
- ・ 特産品をもっとPRして、市内限定で販売する。
- ・ 個人商店が元気出る様にする。
- ・ お店自体が地味なものばかり。活気的な店をおくべき。

- ・商人のやる気と商人の跡継ぎが商売をしたくなる環境づくり。
- ・事業主の事業に対するやる気。
- ・住民の活性化が図られなければ発展はない。達成で出来れば自然と中心部に集まって来る。
- ・新規出店企業、後継者・2代目3代目への支援。
- ・情報の発信に行政も手伝う。
- ・古い街並みを再現し、昔ながらの商店街を作る。アーケードあり。
- ・昔から見ると、小さな商店があればと思います。
- ・観光客も多く立ち寄れるような物産店や、観光客が中心市街地に立ち寄りやすい高速道路のスマートインターチェンジの設置。
- ・ベビー用品からお年寄りまで、サプライズ値段でも何でもそろう「宝の山探検 ショッピングセンター」などがあればいい。
- ・ファミリーで外食をできる店（安くて安心老人から子どもまで）、その後買い物や遊戯をともに楽しめる場所。
- ・高齢専用の店、福祉用品。
- ・若者が集まる店舗づくり。
- ・商店の活性化は困難（広い駐車場と大型店舗がないとこれからの時代は無理）だから、飲食店街として再編するのがよい。昼どきに人が集まってくるようなエリアに。
- ・店舗数の整備。
- ・同じフランチャイズの店しかないので、違う系列の店があってほしい。
- ・他市町村より商品が安値は魅力です。
- ・コンビニの低価格化。
- ・農協ストアに部外客販売額と農協法規定の5%以内を遵守させる事。
- ・夏に向かって蛾対策を。
- ・食品、日用品等はスーパーがいろいろあるので恵まれていてありがたいですが、衣料品、家電などはやはり市外の大型店へ行きます。品ぞろえもありますし、“札幌へも近い”というのが一番の理由で、いろいろな店を見て買いたいという心理が働きます。ある面で仕方ないのでは・・・？と考えます。
- ・近隣の大型店の進出により、個店中心の商店街では、活性化することは困難である。また、人口減により購買力は必然的に減少することは避けられないと思われる。

【問 11】道路や交通について、今後、どのようなことに力を入れるべきと思いますか。

(複数回答・2つまで)

「冬季間の道路の除排雪」が 54.2%と最も高く、他の項目との差が目立ちます。さらに「バスの便の確保」(25.9%)、「街路灯・防犯灯の設置」(24.4%)と続きます。



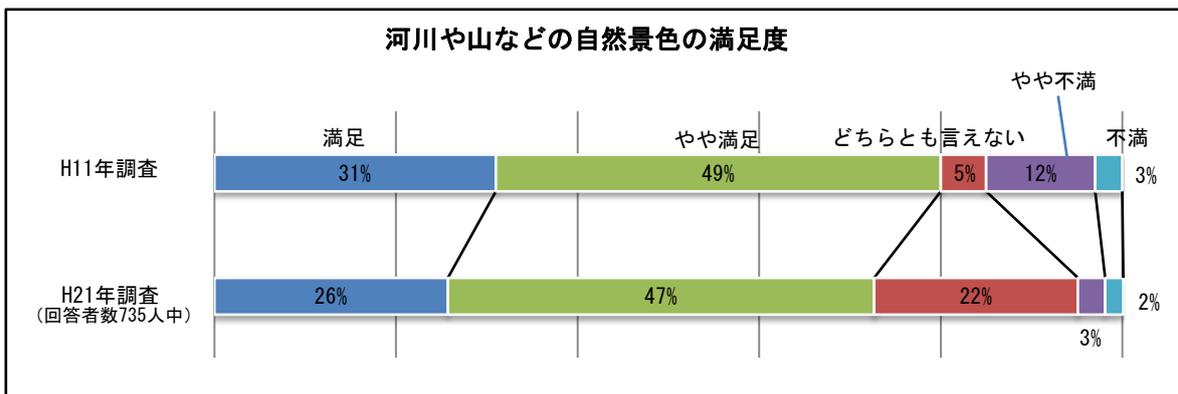
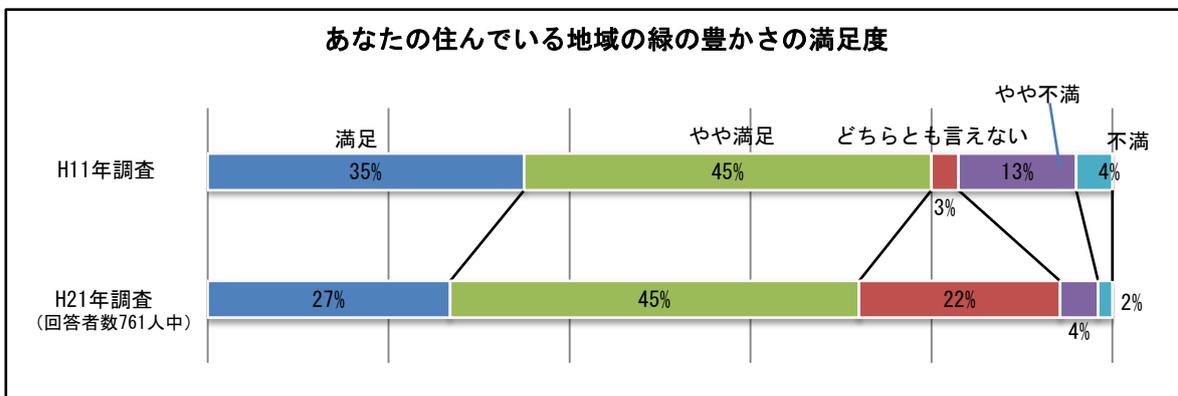
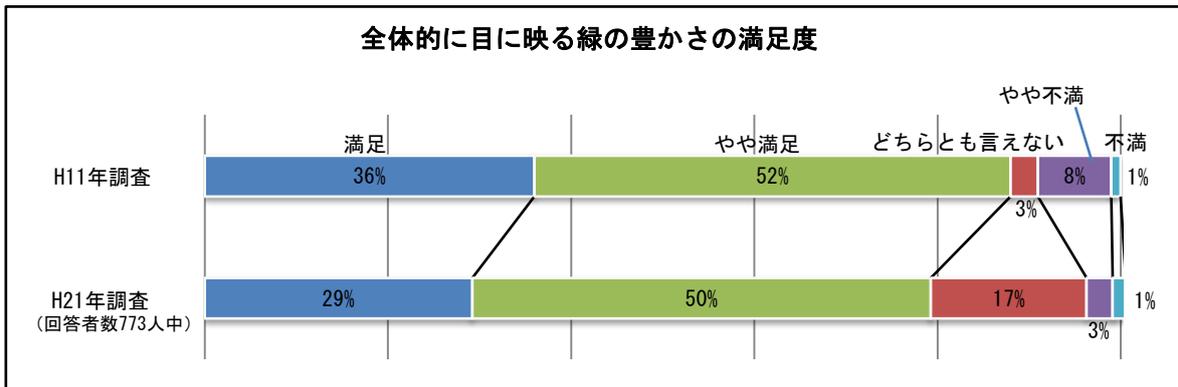
【「その他」の記述】

- ・特に街路樹などはムダです。警察、行政（市、国）、その他の団体、懇談会形式で計画を策定してほしい。
- ・段差の解消と街路樹の低、中木化に力を入れるべき。剪定と称して、木の上部を切ることは、美観上も含め無駄である。
- ・歩道が雑草や木の枝でうっそうとしている所が多々あり歩きづらい。
- ・歩道橋の点検。
- ・信号がなく交通が危険な所が多い。
- ・傷んだ所の補修。
- ・通学路の安全性。
- ・乗り合いタクシー。
- ・市内循環バスが必要。
- ・流雪溝（国道）ですが、最近高齢で雪はねも出来ない人もいて、きれいな所とそうでない所とあり困る。
- ・雨天時に歩行者が車にドロ水をはねつけられない様、路面の凸凹がない（雨水のたまらない）車道を！！

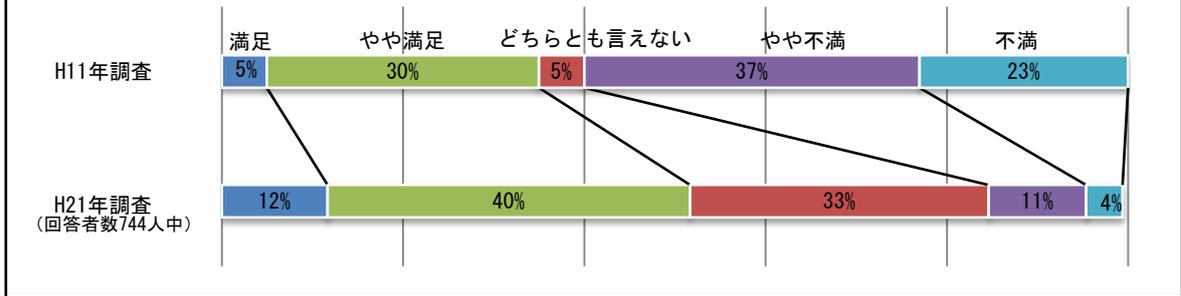
- ・基本的な回答は1（道路の舗装・改修）ですが、道路の路面の起伏を無くしてほしい。冬は、暗いため起伏部分で足を取られて転びそうになったので。
- ・自転車の置き場所がない。
- ・札幌・旭川とのアクセスに力を入れる。
- ・ターミナルが駅から遠すぎる・バス時間帯を考えてほしい・北光団地より滝川方面行のバス待合所を希望します。
- ・バスの新規路線増設（新国道12号線アクロスプラザ方面）。
- ・バス停を明るいイメージにしてほしいです。中が暗く窓も小さいので入りづらいです。
- ・現状維持でよいと思います。
- ・砂川では歩道に自転車道があり、友達と喜んでいます。他のまちではない、いいところです。

【問 12】あなたは、砂川市全体の緑が広がる景観について、どの程度満足していますか。
(1つ選択)

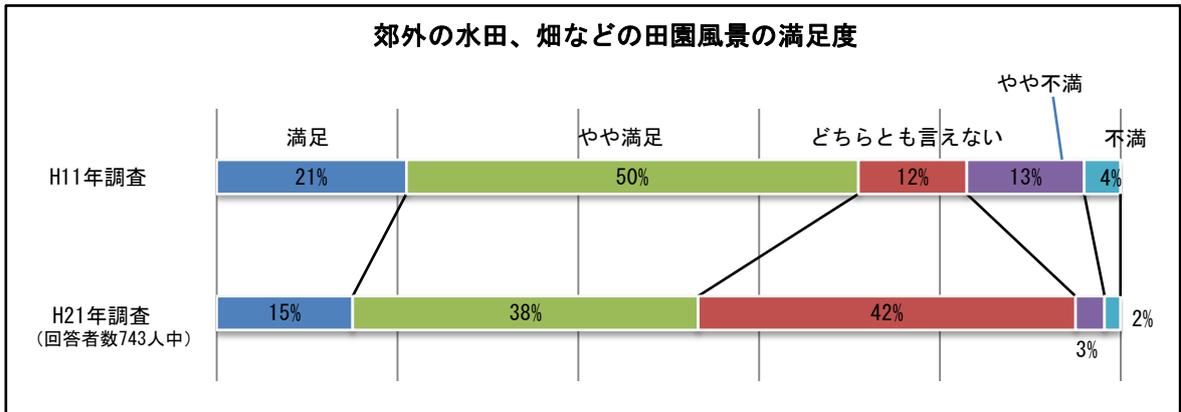
緑についての満足度については、平成 11 年度の同調査と比較を行うと、5 項目のうち「全体的に目に映る緑の豊かさ」、「あなたの住んでいる地域の緑の豊かさ」、「河川や山などの自然景色」、「郊外の水田、畑などの田園風景」の 4 項目において、同じ傾向がみられます。それぞれ「満足」、「やや満足」が同率もしくは微減傾向にありますが、「不満」、「やや不満」という回答も大幅に減少している一方で、「どちらとも言えない」という回答が大きく伸びています。唯一、「街路樹などのまち並みの美しさ」では「満足」、「やや満足」が前回から大きく伸び、「不満」、「やや不満」が大きく減っており、まち並みに対する市民の満足度が高まったことを示しています。



街路樹などのまち並みの美しさの満足度

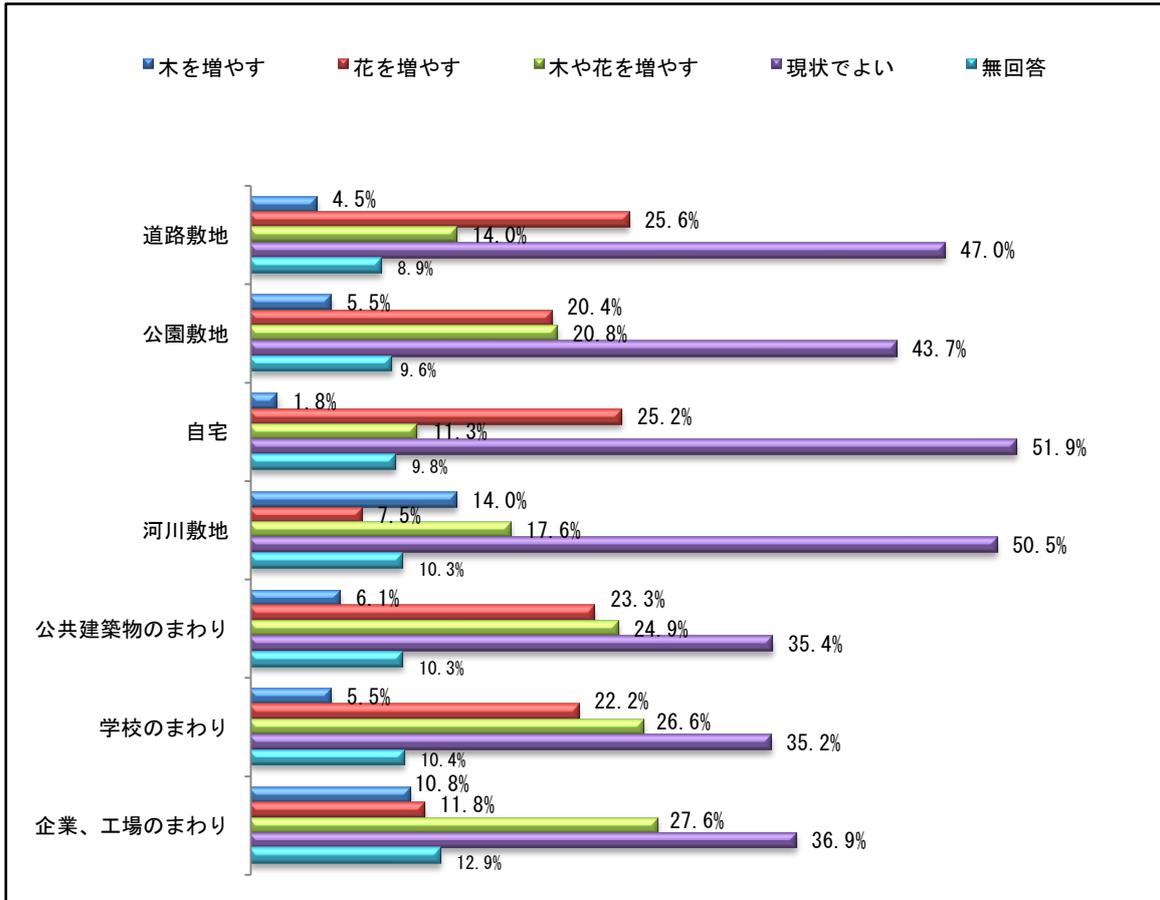


郊外の水田、畑などの田園風景の満足度



【問 12-2】砂川市は、緑あふれる公園都市をめざし、木々を植えて緑を増やしてきました。樹木の効果は、CO2を削減し、防災や景観、動植物の生存に欠かせない多くの効果を持っています。あなたの目から見た緑に対する考え方ではまるものを選んでください。(1つ選択)

全般的に市内の各場所の緑は「現状でよい」という回答が多く見られ、「道路敷地」、「公園敷地」、「自宅」、「河川敷地」ではいずれも5割、もしくは5割近い高い回答率になっています。また、「河川敷地」以外は「木を増やす」よりも「花を増やす」という回答が上回っています。



・その他の場所

()の中は回答数

鉄道敷地(1)・駅(2)	木や花を増やす(3)
病院(2)	木を増やす(1)・花を増やす(1)
オアシスパーク(2)	花を増やす(1)・木や花を増やす(1)
商店街(3)	花を増やす(2)・木や花を増やす(1)
山	木を増やす

【緑をふやす施策などに対する意見】

・維持管理

○木や花を増やしても管理が悪い(管理をしっかりする)(15)

○落ち葉の処理(11)

○交通の妨げ(11)

○剪定・下刈りをしていない(9)

○景観が悪い(8)

○虫対策(5)

○除雪の妨げ(2)

・緑化は充実していると思う。(これ以上必要ない)(10)

・管理への参加意識を高める。(町内会、ボランティア)(6)

・花は植えているが統一感(テーマ)がない。(5)

・特色ある木や花を植えて景観を良くし、観光客が集まるようにしてほしい。(4)

・樹木の特性を生かした(場所に合わせた)植樹。(4)

・市民に苗木(種)を配る(購入費の助成)。(4)

・まだ植樹の必要がある・街路樹を多くする。(3)

・国道沿いに花や木を増やす。(枯れた所を植え足す・フラワーロードにする)(3)

・オアシスパークに桜を植える。(2)

・花粉症(アレルギー)になりにくい木をうえてほしい。(2)

・緑を増やす前にごみが汚い。(2)

・緑を増やす前に他の施策。(2)

・緑を増やす前に店を増やしてほしい。

・アメニティタウンの考えが薄れてきた。

・緑基金として少額でも寄附してもらって植栽に役立てる。

・緑より花を植えたほうがいい。

・毎年商店街の花壇にマリーゴールドを植えているが、毎年咲く宿根草を植えるべき。

・花ばかりでなく、実のなる木々を植える。

・小学校の授業などで木や花を植える活動を取り入れる。

・町内会で地域の方が集まり花を植えてくださり感謝しています。

・白樺はいらない。

・今ある公園を昔のようにきれいに。

・駅前の公園をもう少しきれいに。

・利用者の割に公園が広い。

・公園に外部からの視界をさえぎるような木は、犯罪など起きやすい(死角になる)ので配慮してほしい。

・砂小のグラウンドの周りをきれいにしてほしい。外部からでも見通し良く。

・市内小中学校のグラウンドには樹木がほとんどない。

・遊水地。緑はあるようだが花が少ない。

・ただ増やすのではなく人々がそこで休んだりできる場所、利用する場所で増やすことがいいのでは。

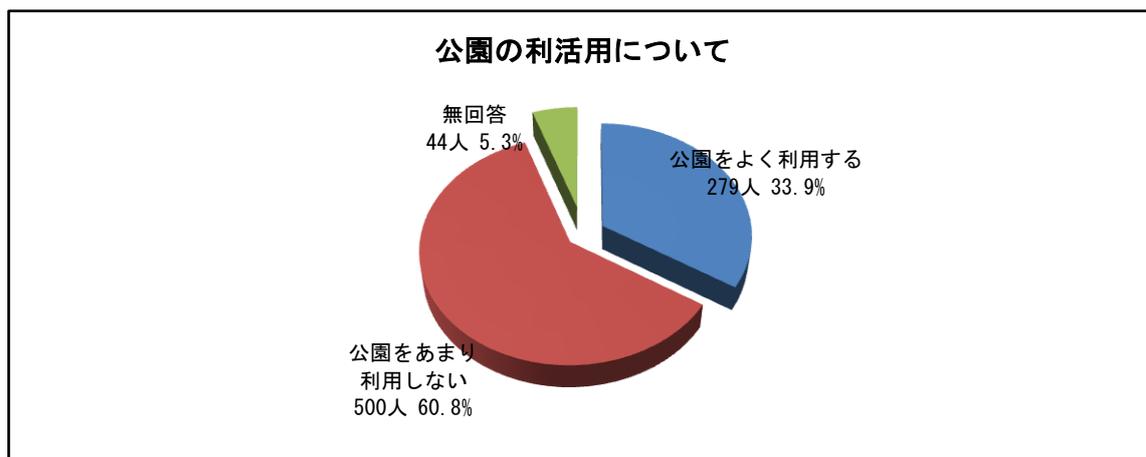
・オアシスのゴーカートの遊び場の有効利用。

・新病院の屋上はヘリポートよりも、屋上菜園や庭園にして、患者さんも散歩できるようにする。

- ・福寿園 市役所 市立病院 ふれあいセンター(を緑化する)。
- ・市立病院の改築後、周辺に木や花などを植えるようにお願いします。
- ・地域でモデル地区を選び、花壇の品評会などを開催したらどうか。
- ・市の花はスズランとされていますが、一般家庭向きではないので、この際思い切って見直し(変更)をしては
いかがなものか？
- ・恥ずかしながら、砂川市の花すら知らず、それだけインパクトすらないような気がする。
- ・砂川市の市の木、ななかまど…街路樹としてもっとあってもよいのでは。砂川市の花、すずらん…PRも必要
では。
- ・近年、ウォーキングしている人が増す中、花壇が整備されている所を歩くと、すぐりラックスして、気が晴々
する。心がなごむ。
- ・ウォーキングする道路を増やして欲しい。
- ・今でもキレイだが、恵庭等と比べるとやや落ちるのでは
- ・緑化対策が公園・道路中心に努力されているが、その割には目立たない。砂川の大小河川を緑化すること
により、面的な展がりができ、目に見えるようになると思う。河川敷地(ペンケ、パンケ、奈江豊平川)を緑化
し、公園化することによって緑の回廊が造られ、人の憩える場所ができると思う。
- ・浸食等の関係から、河川はコンクリートの堤防にしていると思うが、自然堤防など(のり面緑化)にしてもいい
のではないかと。アメニティタウンをアピールしている市なので、こだわってもいいと思う。

【問 12-3】身近な公園（街区公園）は、遊んだり、休んだり、災害の避難場所だったり
と色々な役割を果たしています。あなたは、公園をどのように利用していますか。
(1つ選択)

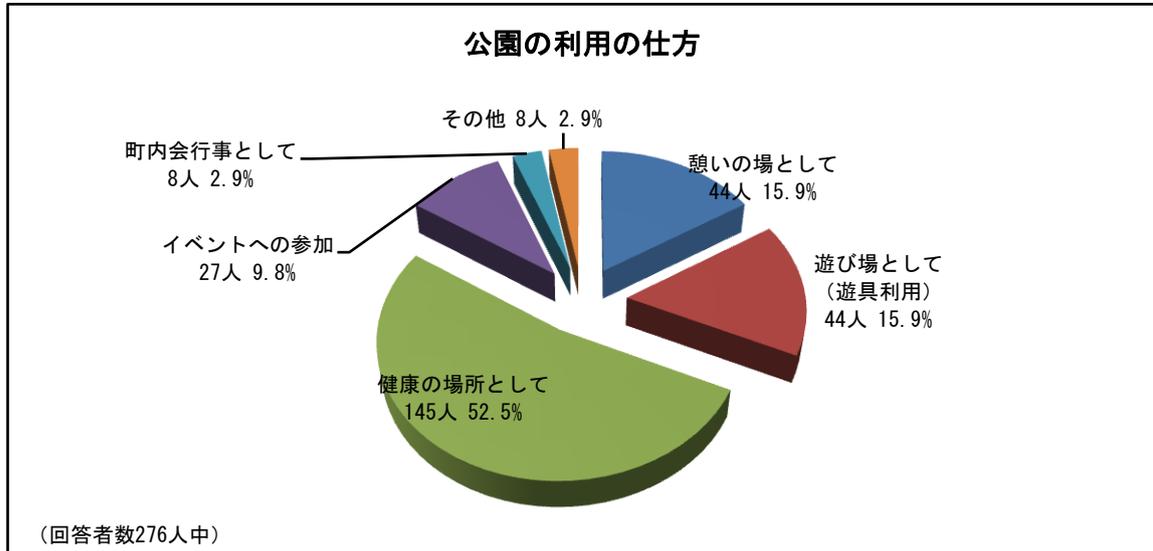
「公園をあまり利用しない」(60.8%)が「公園をよく利用する」(33.9%)を2倍近く上回っています。



【問 12-4】公園をよく利用する方に、利用内容についてお伺いします。

(問 12-3 で 1 を選んだ方 1 つ選択)

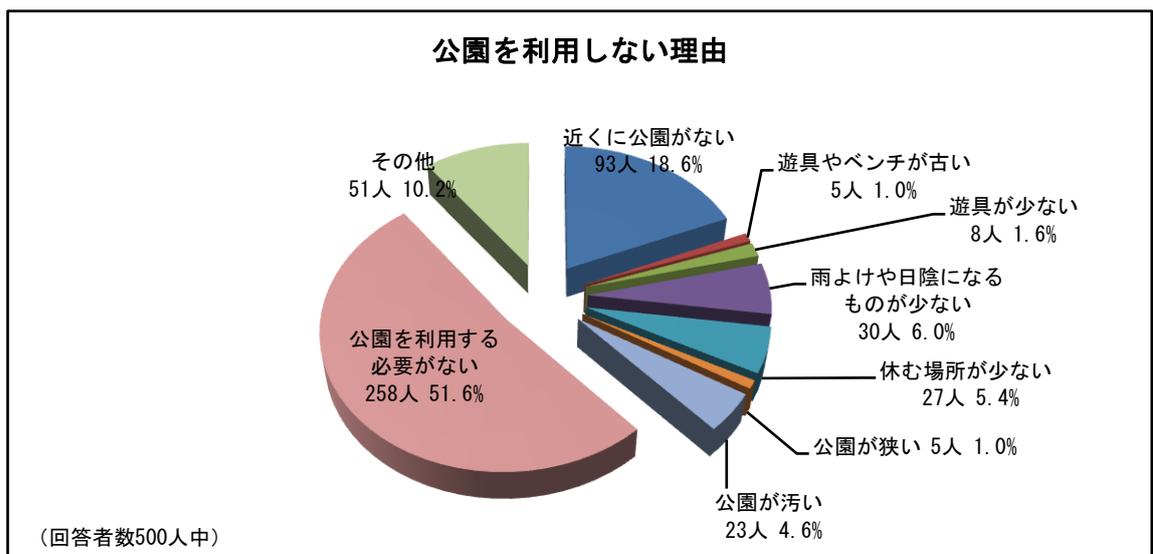
利用の仕方としては「健康の場所として」が 52.5%と最も高く、「遊び場として (遊具利用)」(15.9%)、「憩いの場として」(15.9%) と続きます。



【問 12-5】公園をあまり利用しない方に、利用されない理由についてお伺いします。

(問 12-3 で 2 を選んだ方 1 つ選択)

公園を利用しない理由については「公園を利用する必要がない」が 51.6%と最も高く、「近くに公園がない」(18.6%)、「雨よけや日陰になるものが少ない」(6.0%) と続きます。



【問 13】 市民参加に関する項目について、それぞれどのように考えていますか。

(1つ選択)

「まちづくりに関心がある」という設問では、「そう思う」が22.2%、「やや思う」が34.1%となっており、合わせると半数を超える市民がまちづくりに関心を持っています。

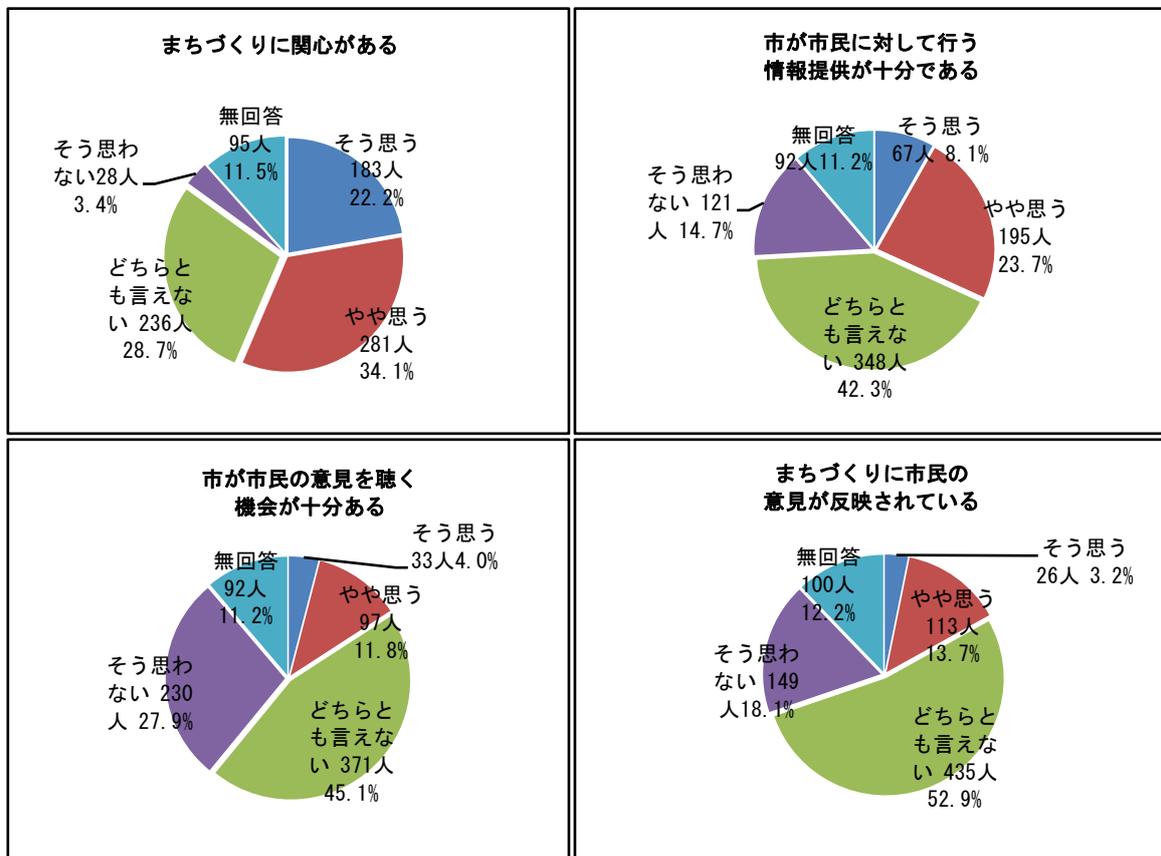
「市が市民に対して行う情報提供が十分である」という設問では、「そう思う」が8.1%、「やや思う」が23.7%となっており、「そう思わない」が14.7%となっています。

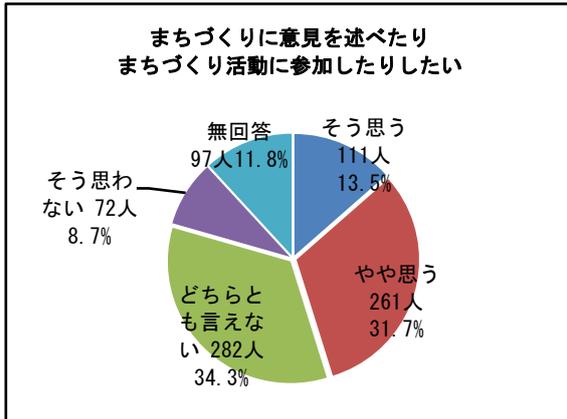
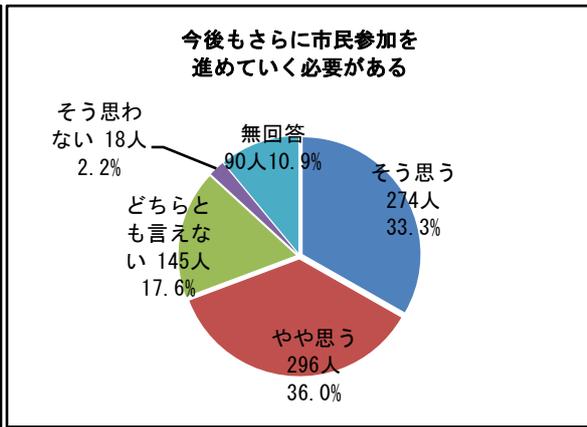
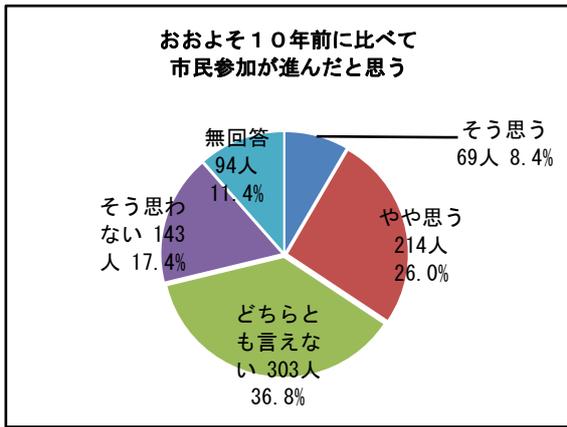
「市が市民の意見を聴く機会が十分ある」という設問では、「そう思う」が4.0%、「やや思う」が11.8%となっており、「そう思わない」が27.9%と大きく上回っています。

「まちづくりに市民の意見が反映されている」という設問では、「そう思う」が3.2%、「やや思う」が13.7%となっており、「そう思わない」(18.1%)となっています。

「おおよそ10年前に比べて市民参加が進んだと思う」という設問では、「そう思う」が8.4%、「やや思う」が26.0%となっており、「そう思わない」が17.4%となっています。

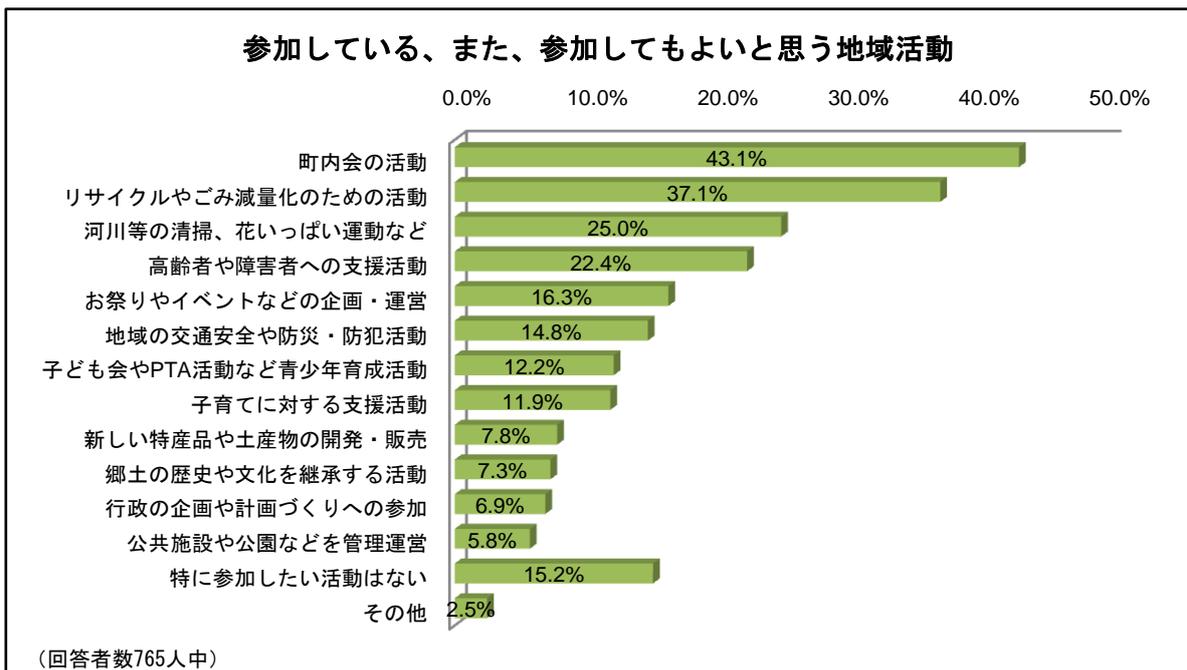
「今後もさらに市民参加を進めていく必要がある」という設問では、「そう思う」が33.3%、「やや思う」が36.0%となっており、「そう思わない」が2.2%でした。次の「まちづくりに意見を述べたり、まちづくり活動に参加したりしたい」という設問でも、半数近くが「おおむね参加したい」との意向があることからわかるように、7割近くの市民が、今後市民参加を進めながらまちづくりをする必要があると感じています。





【問 13-2】あなたはどのような地域活動に参加していますか。また、参加してもよいと思いますか。(複数回答・あてはまるものすべて選択)

「町内会の活動」が 43.1%と最も高く、「リサイクルやごみ減量化のための活動」(37.1%)、「河川等の清掃、花いっぱい運動など」(25.0%)、と続きます。



【問 14】今後のまちづくりに対する提案やアイデア、ご意見などありましたらご記入ください。
(自由回答)

この問は、市民の方の砂川市への思いや、まちづくりに対する考えをお聞きしました。

249名から340件のご意見をもらいましたが、傾向としては、「医療・保健・福祉」、「産業振興」、「都市基盤」の分野に対するものが多くなっています。

「医療・保健・福祉」では、特に高齢者福祉や介護サービスに対して充実を求める声、「産業振興」では、さびれる中心市街地を懸念し活性化を望む声や、そのための様々なアイデアなどが寄せられました。「都市基盤」では公園の維持管理や利活用についてのご意見が多くなっています。

意見の分野別件数

分 野	件 数
まちづくり全般	7
市民参画・コミュニティ・行政運営	47
教育・文化・スポーツ	19
生活環境・防災	15
医療・保健・福祉	55
産業振興	95
都市基盤	74
その他	28
計	340